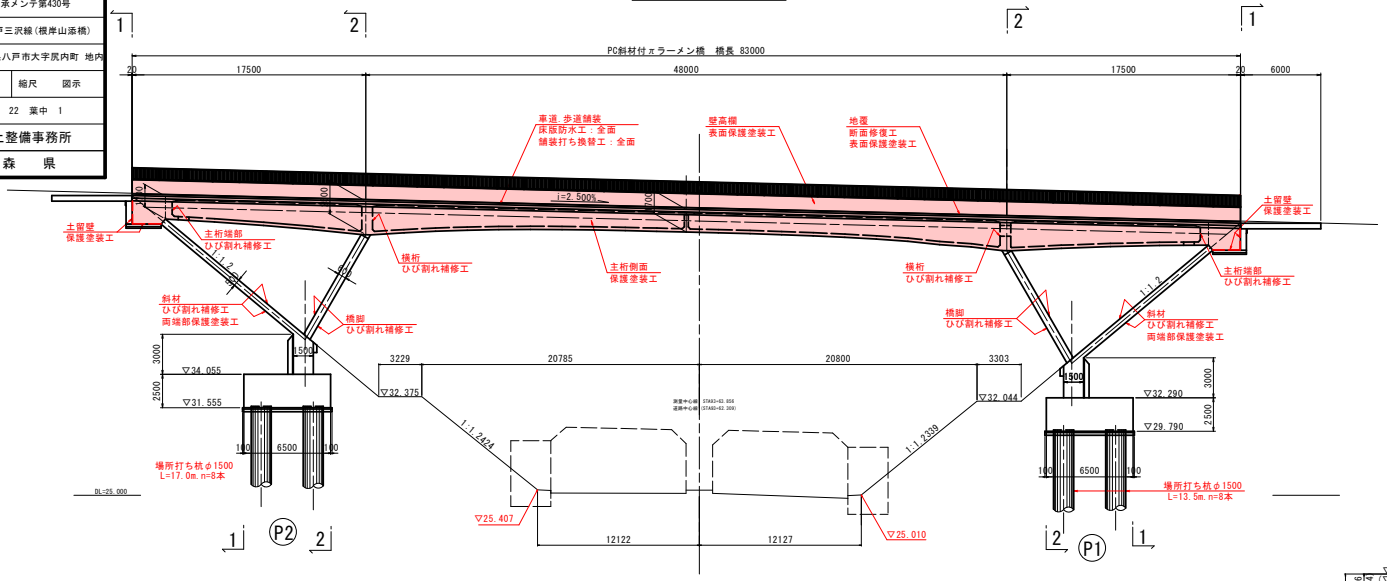
根岸山添橋　補修一般図

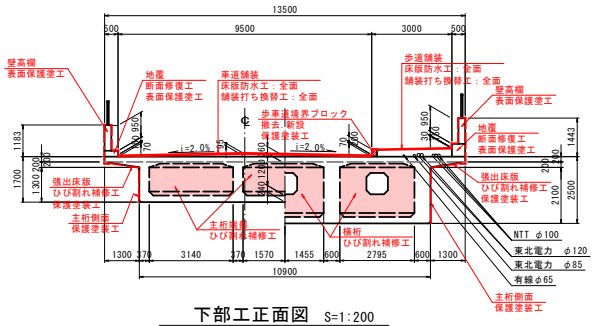
令和 8 年度	橋梁補修工事
工事番号	承メンテ第430号
路線河川名	八戸三沢線（根岸山添橋）
施工箇所	青森県八戸市大字尻内町 地内
補修一般図	縮尺　図示
図面番号	22　葉中　1
三八県土整備事務所	
青　森　県	

3/35

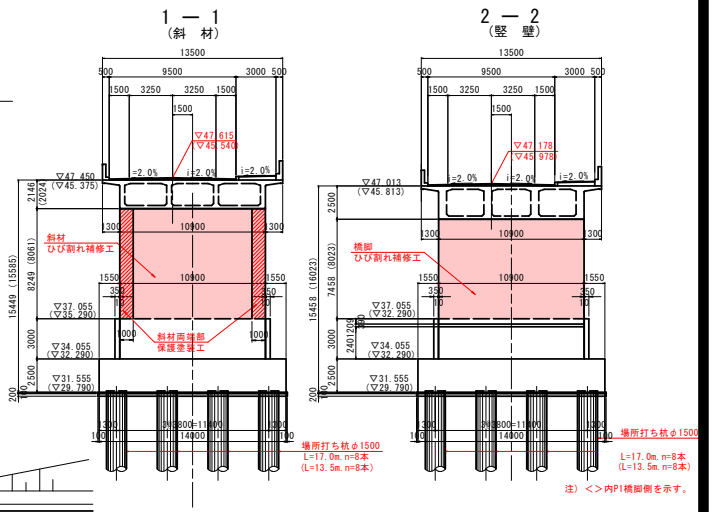
側　面　図 S=1:200



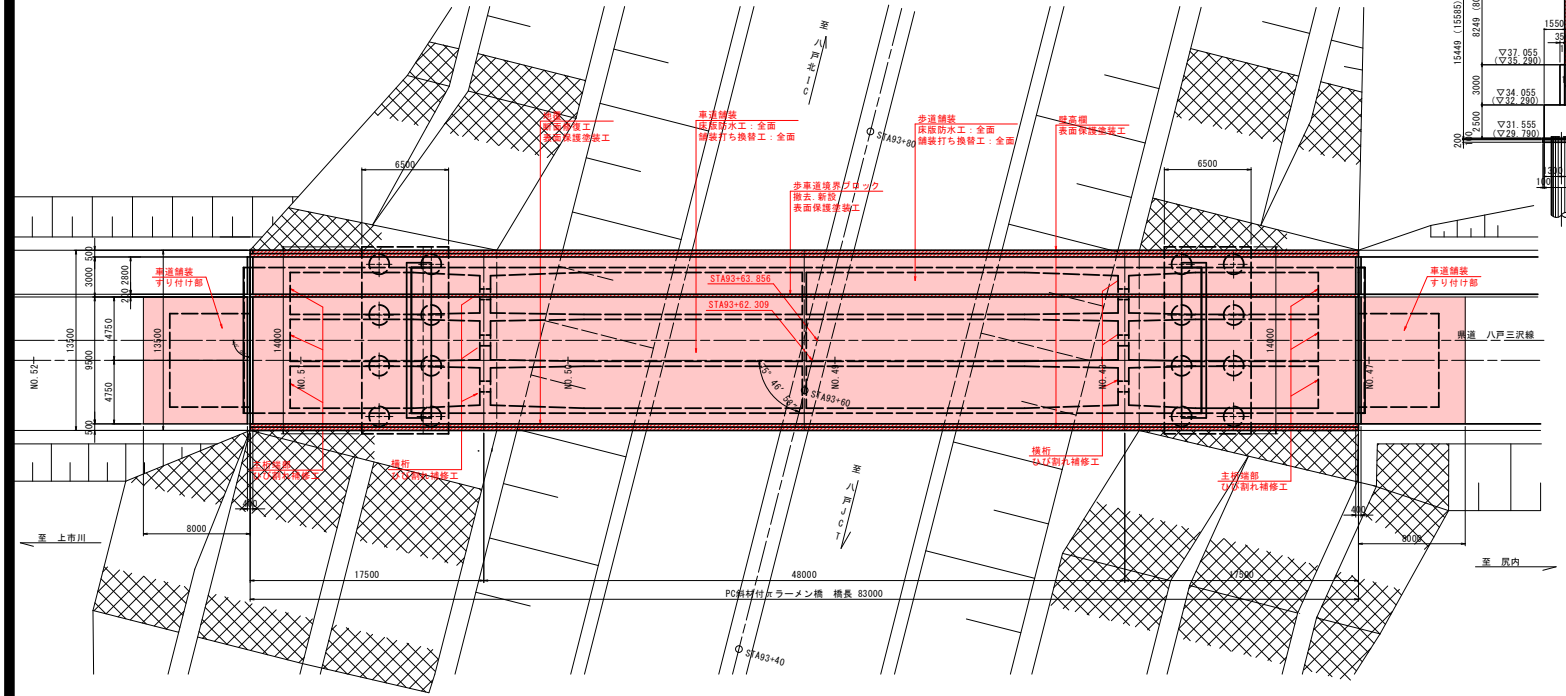
上部工断面図 S=1:100



下部工正面図 S=1:200



平　面　図 S=1:200



対策工一覧表

部位		内容	位置・範囲	備考
橋面工	落下物防止柵	経過観察		
	地　覆	断面修復工	各損傷部位	ポリマーセメントモルタル左官（防錆なし）
		表面保護工	全面	浸透性ハイブリッドエチルシラン系撥水剤
	壁 高 欄	表面保護工	全面	浸透性ハイブリッドエチルシラン系撥水剤
	歩車道境界ブロック	撤去，新設	全長	片面歩車道境界ブロックB型
		表面保護工	全面	浸透性ハイブリッドエチルシラン系撥水剤
	車道舗装	床版防水工	全面	塗膜系複合型
		舗装打換工	全面	アスファルト t=70mm
	歩道舗装	床版防水工	全面	塗膜系複合型
		舗装打換工	全面	アスファルト t=30mm
上部工	主桁，床版	断面修復工	各損傷部位	ポリマーセメントモルタル左官（水路補修用）（防錆なし）
		表面保護工	主桁両側面	浸透性ハイブリッドエチルシラン系撥水剤
	張出床版	ひび割れ補修工	各損傷部位	エポキシ樹脂系注入材
		表面保護工	床版下面	浸透性ハイブリッドエチルシラン系撥水剤
	主桁端部	ひび割れ補修工	各損傷部位	エポキシ樹脂系注入材
	中間横桁	ひび割れ補修工	各損傷部位	エポキシ樹脂系注入材
下部工	斜　材	ひび割れ補修工	各損傷部位	エポキシ樹脂系注入材
		表面保護工	両端部1.0m・損傷部	浸透性ハイブリッドエチルシラン系撥水剤
	竪　壁	ひび割れ補修工	各損傷部位	エポキシ樹脂系注入材
その他	土 留 工	表面保護工	全面	浸透性ハイブリッドエチルシラン系撥水剤

注記
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. 歩道内の埋設管は根岸山添橋完成図（高速道路管理者より提供）を参照した。

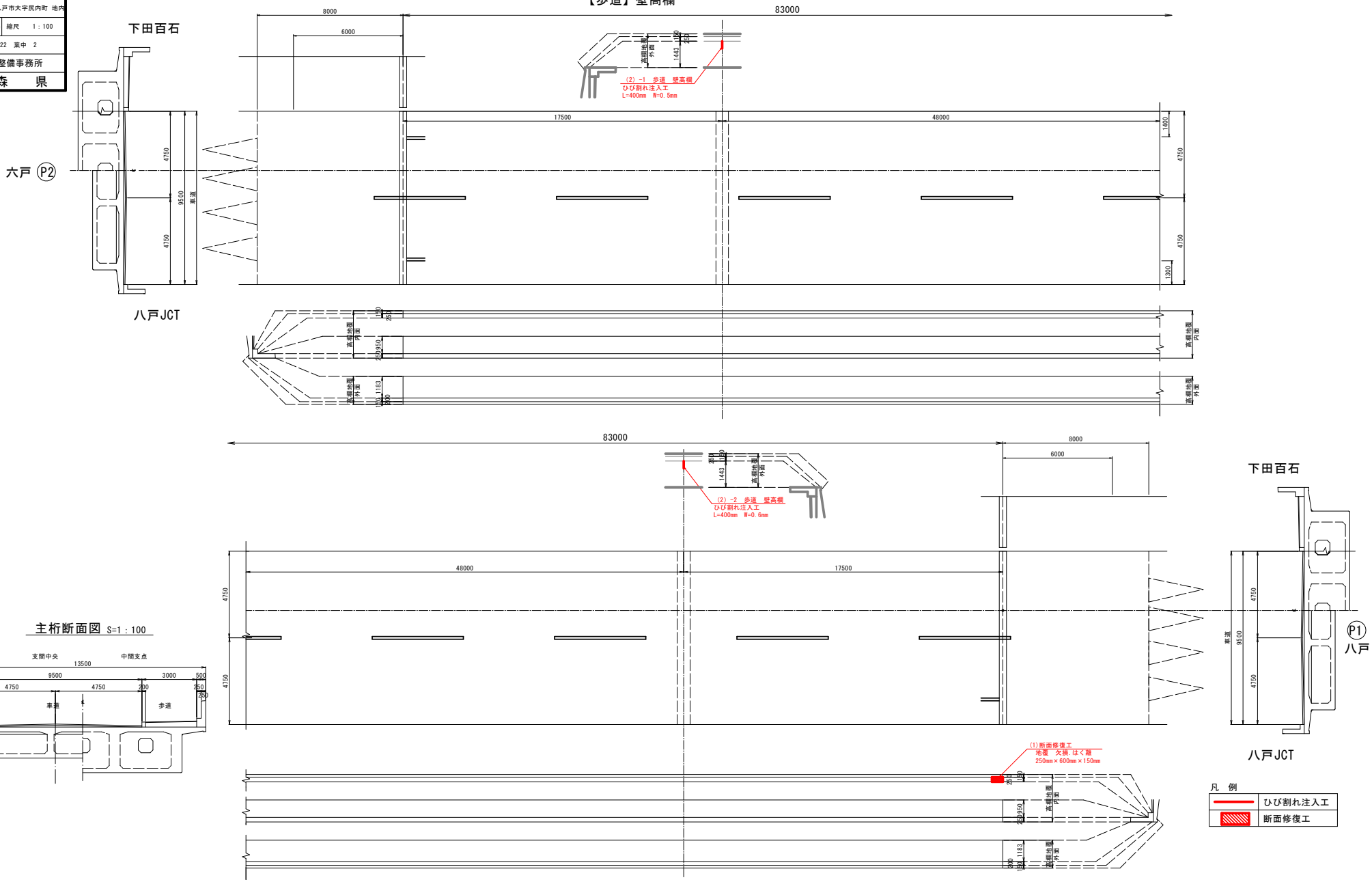
令和 8 年度　橋梁補修工事	
工事番号	承メンテ第430号
路線名 河川名	八戸三沢線（根岸山添橋）
施工箇所	青森県八戸市大字尻内町 地内
上部工補修図（その1）	縮尺　1：100
図面番号	22　葉中　2
三八県土整備事務所	
青　森　県	

令和 8 年度　橋梁補修工事
承メンテ第430号

14/35

根岸山添橋　上部工補修図（その1） S=1:100

【車道】地覆
【歩道】壁高欄



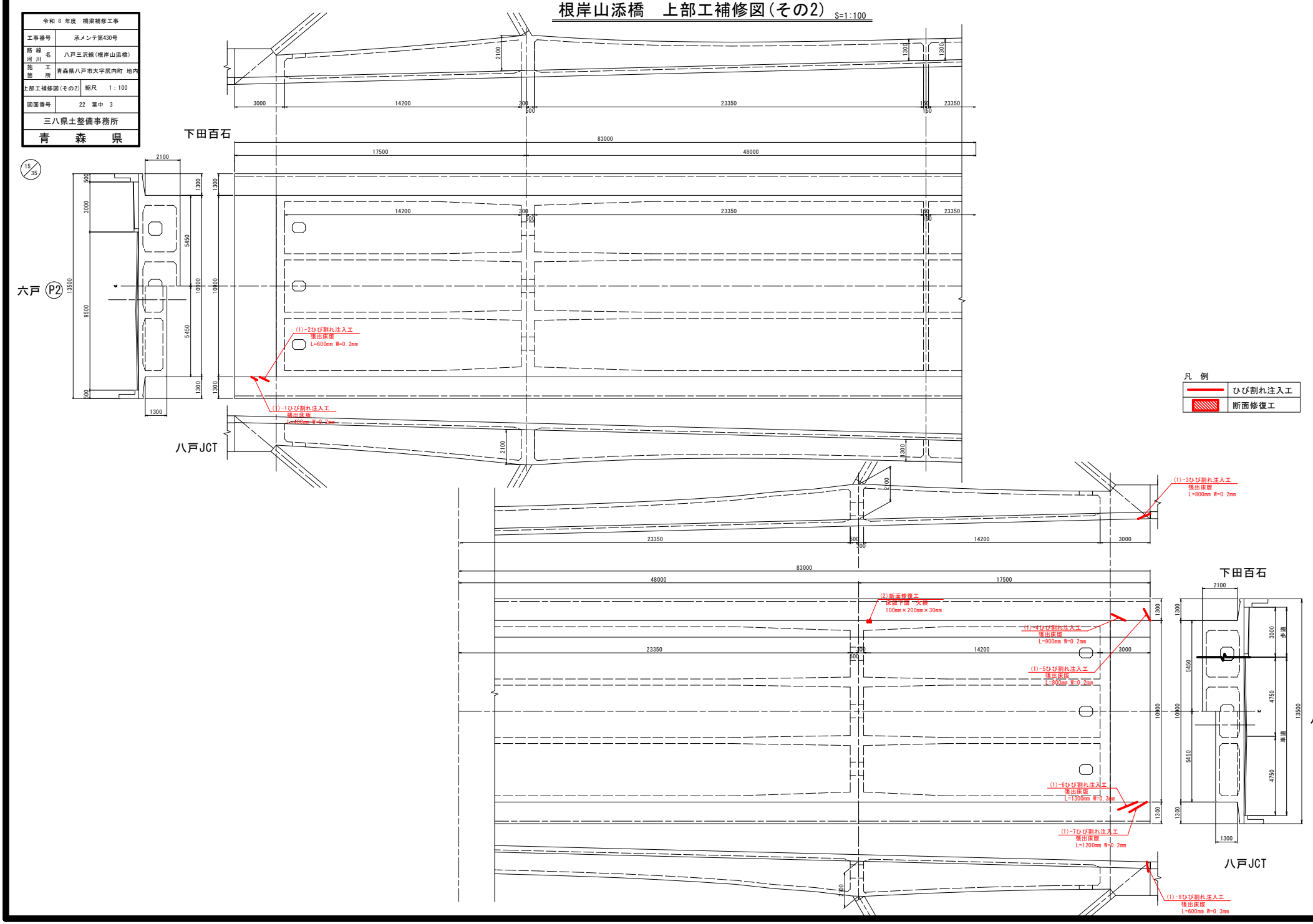
主桁断面図 S=1：100

凡　例

	ひび割れ注入工
	断面修復工

根岸山添橋　上部工補修図（その2）　S=1:100

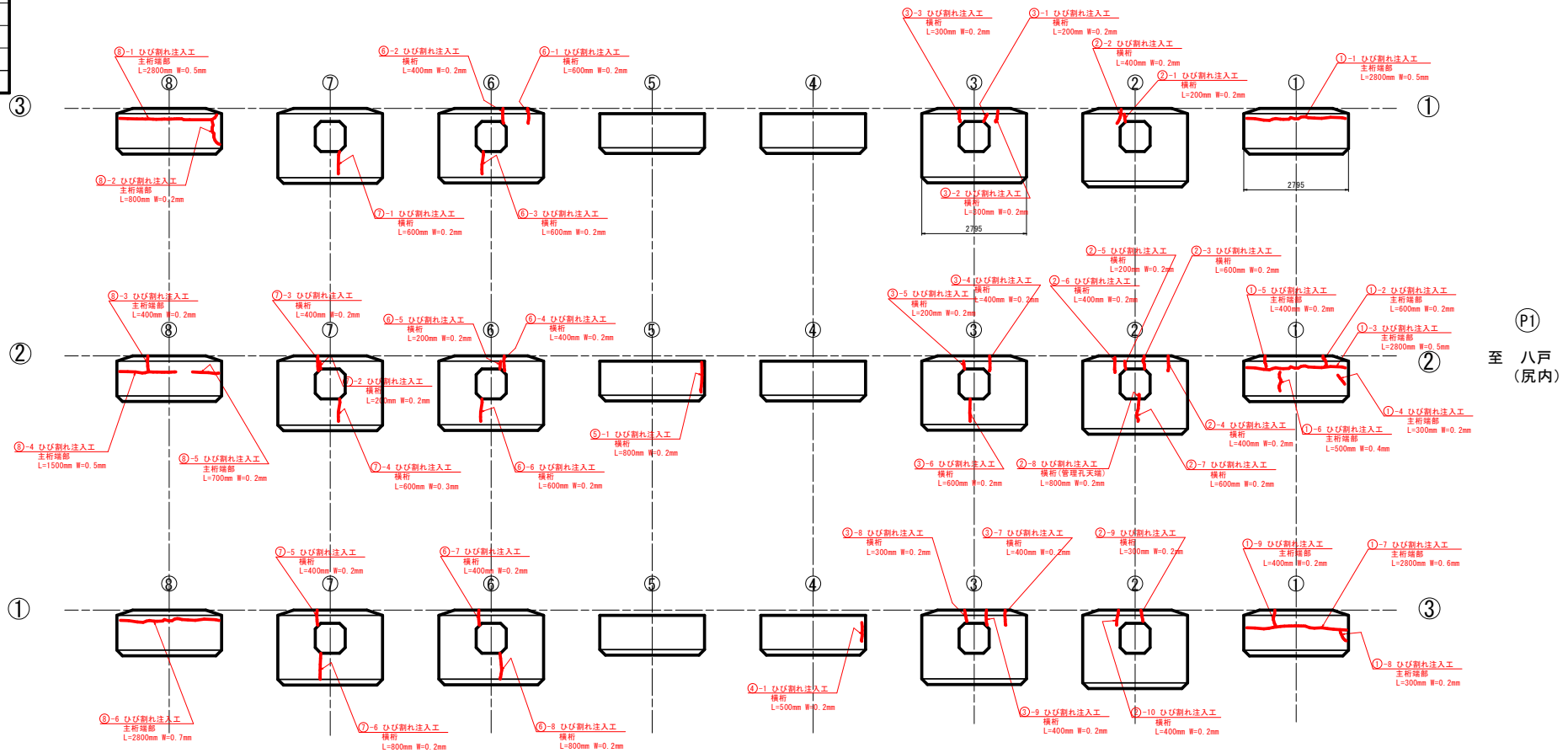
令和 8 年度　橋梁補修工事	
工事番号	承メンテ第430号
路線名 河川名	八戸三沢線（根岸山添橋）
施工箇所	青森県八戸市大字尻内町 地内
上部工補修図（その2）	縮尺　1：100
図面番号	22　葉中　3
三八県土整備事務所	
青　森　県	



令和 8 年度　橋梁補修工事	
工事番号	承メンテ第430号
路線名 河川名	八戸三沢線（根岸山添橋）
施工箇所	青森県八戸市大字尻内町 地内
上部工補修図（その3）	縮尺　図示
図面番号	22　葉中　4
三八県土整備事務所	
青　森　県	

16/35

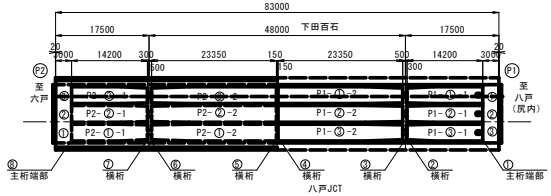
根岸山添橋　上部工補修図（その3）　S=1:60



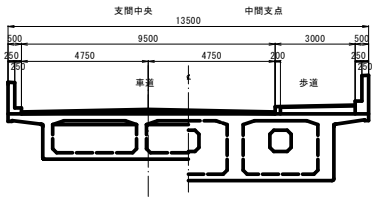
凡　例

———	ひび割れ注入工

位置図　S=1:500



主桁断面図　S=1:100



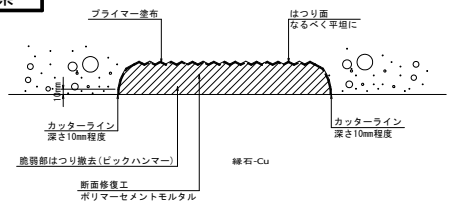
令和 8 年度　橋梁補修工事	
工事番号	承メンテ第430号
路線名 河川名	八戸三沢線（根岸山添橋）
施工箇所	青森県八戸市大字尻内町 地内
上部工補修図（その4）	縮尺　　図示
図面番号	22　葉中　5
三八県土整備事務所	
青　森　県	

17/35

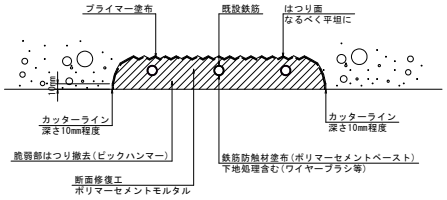
根岸山添橋　上部工補修図（その4）

断面修復工［左官工法］

鉄筋防錆処理無



鉄筋防錆処理有



注）うき、欠損部でもはつりにより鉄筋が露出した場合は上図により施工すること。

断面修復工　数量表

（ポリマーセメントモルタル 水路補修用）

工　法	箇　所	寸　法		数　量
左官工法	床版下面	(2)　0.100x0.200x0.030	=	0.001　m3
		合　計	=	0.001　m3

ポリマーセメント系モルタル（水路補修用）品質

試験項目	測定項目	試験結果	備　考
曲げ強さ	曲げ強さ	8.4 N/mm2	JIS A 1171
圧縮強さ	圧縮強さ	44.0 N/mm2	JIS A 1171
付着強さ	付着強さ	1.8 N/mm2	JIS A 1171
吸水	吸水率	0.3 g	JIS A 1171
透水	透水率	0.1 g	JIS A 1171
長さ変化	長さ変化率	−0.08%	JIS A 1171
接着耐久性	付着強さ	2.0 N/mm2	JIS A 1171
単位容積質量	単位容積質量	1.96 kg/l	JIS A 1171

成　分
普通ポルトランドセメント
水溶性特殊カチオン樹脂
珪砂
アラミド繊維
アルミナ
セラミックパウダー
添加剤(分散剤−減水剤−他)

※ポリマーセメント系モルタル（水路補修用）の品質は、上記表の同等品以上とする。

材料表

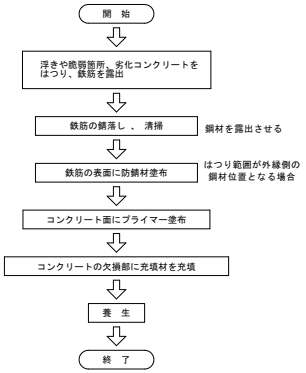
工　種	仕　様
鋼材防錆処理工	リン酸塗料、有機酸、キレート化剤等
下地処理工	ポリマーセメント系ペースト材（水路補修用）
断面修復工	ポリマーセメント系モルタル材（水路補修用）

※鋼材防錆処理工はP1橋脚のみ

防錆材品質

耐アルカリ性試験	塗膜に異常が認められないこと
鉄筋に対する付着強さ試験	7.8N/mm2以上

断面修復の施工フロー



断面修復工　数量表

（ポリマーセメントモルタル）

工　法	箇　所	寸　法		数　量
左官工法	地　覆	(1)　0.250x0.600x0.150	=	0.023　m3
		合　計	=	0.023　m3

ポリマーセメント系モルタル品質

項　目		ポリマーセメント系モルタル	
硬化性		普　通	速　硬
単位容積質量		1.8～2.2kg/l	1.8～2.1kg/l
フロー		120～160	120～160
硬化時間		3～8時間	0.5～2時間
圧縮強度		25N/mm2以上	25N/mm2以上
付着強度	標　準	1.8～3.4N/mm2	2.0～2.8N/mm2
	温冷繰返し	1.6～2.4N/mm2	1.6～3.0N/mm2
弾性係数		16～21kN/mm2	13～21kN/mm2
引張強度		3～6N/mm2	3～6N/mm2
収縮率		200～1000(x10^{-6})	200～1000(x10^{-6})
熱膨張率		8～17x10^{-6}/℃	10～15x10^{-6}/℃

※出典：コンクリートライブラリー
表面保護工法 設計施工指針（案）H17.4（土木学会）

材料表

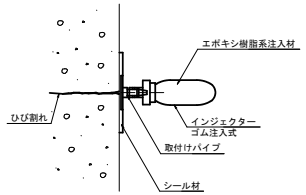
工　種	仕　様
鋼材防錆処理工	リン酸塗料、有機酸、キレート化剤等
下地処理工	ポリマーセメント系ペースト材
断面修復工	ポリマーセメント系モルタル材

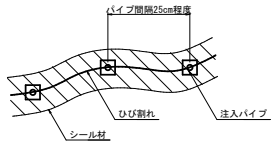
防錆材品質

耐アルカリ性試験	塗膜に異常が認められないこと
鉄筋に対する付着強さ試験	7.8N/mm2以上

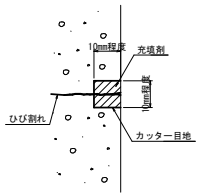
ひび割れ修復工

ひび割れ注入工
（幅1.0mm未満）





ひび割れ充填工
（幅1.0mm以上）



ひび割れ修復工　数量表

工　法	箇　所	番　号	幅(mm)	延　長 (m)
ひび割れ注入工	張出床版	(1)− 1	0.2	0.400
		(1)− 2	0.2	0.600
		(1)− 3	0.2	0.800
		(1)− 4	0.2	0.900
		(1)− 5	0.2	0.800
		(1)− 6	0.3	1.300
		(1)− 7	0.2	1.200
		(1)− 8	0.3	0.600
		小計 1 ＝		6.600

ひび割れ修復工　数量表

工　法	箇　所	番　号	幅(mm)	延　長 (m)
ひび割れ注入工	歩道側壁高欄	(2)− 1	0.5	0.400
		(2)− 2	0.6	0.400
		小計 2 ＝		0.800

ひび割れ修復工　数量表

工　法	箇　所	番　号	幅(mm)	延　長 (m)
ひび割れ注入工	①主桁端部	①− 1	0.5	2.800
		①− 2	0.2	0.600
		①− 3	0.5	2.800
		①− 4	0.2	0.300
		①− 5	0.2	0.400
		①− 6	0.4	0.500
		①− 7	0.6	2.800
		①− 8	0.2	0.300
		①− 9	0.2	0.400
	②側径間横桁	②− 1	0.2	0.200
		②− 2	0.2	0.400
		②− 3	0.2	0.600
		②− 4	0.2	0.400
		②− 5	0.2	0.200
		②− 6	0.2	0.400
		②− 7	0.2	0.600
		②− 8	0.2	0.800
		②− 9	0.2	0.300
		②− 10	0.2	0.400
	③側径間横桁	③− 1	0.2	0.200
		③− 2	0.2	0.300
		③− 3	0.2	0.300
		③− 4	0.2	0.400
		③− 5	0.2	0.200
		③− 6	0.2	0.600
		③− 7	0.2	0.400
		③− 8	0.2	0.300
		③− 9	0.2	0.400
	④中間横桁	④− 1	0.2	0.500
	⑤中間横桁	⑤− 1	0.2	0.800
	⑥側径間横桁	⑥− 1	0.2	0.600
		⑥− 2	0.2	0.400
		⑥− 3	0.2	0.600
		⑥− 4	0.2	0.400
		⑥− 5	0.2	0.200
		⑥− 6	0.2	0.600
		⑥− 7	0.2	0.400
		⑥− 8	0.2	0.800
	⑦側径間横桁	⑦− 1	0.2	0.600
		⑦− 2	0.2	0.200
		⑦− 3	0.2	0.400
		⑦− 4	0.3	0.600
		⑦− 5	0.2	0.400
		⑦− 6	0.2	0.800
	⑧主桁端部	⑧− 1	0.5	2.800
		⑧− 2	0.2	0.800
		⑧− 3	0.2	0.400
		⑧− 4	0.5	1.500
		⑧− 5	0.2	0.700
		⑧− 6	0.7	2.800
		小計 3 ＝		35.600
ひび割れ注入工　合計　ΣV=6.600+0.800+35.600=43.0m				

注記
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. コンクリートの脆弱部は確実にはつり落し、補修を行うこと。
　はつりは最低30mm以上は行うこと。

令和 8 年度　橋梁補修工事	
工事番号	承メンテ第430号
路線名 河川名	八戸三沢線（根岸山添橋）
施工箇所	青森県八戸市大字尻内町 地内
上部工表面処理工図（その1）	縮尺　1：100
図面番号	22　葉中　6
三八県土整備事務所	
青　森　県	

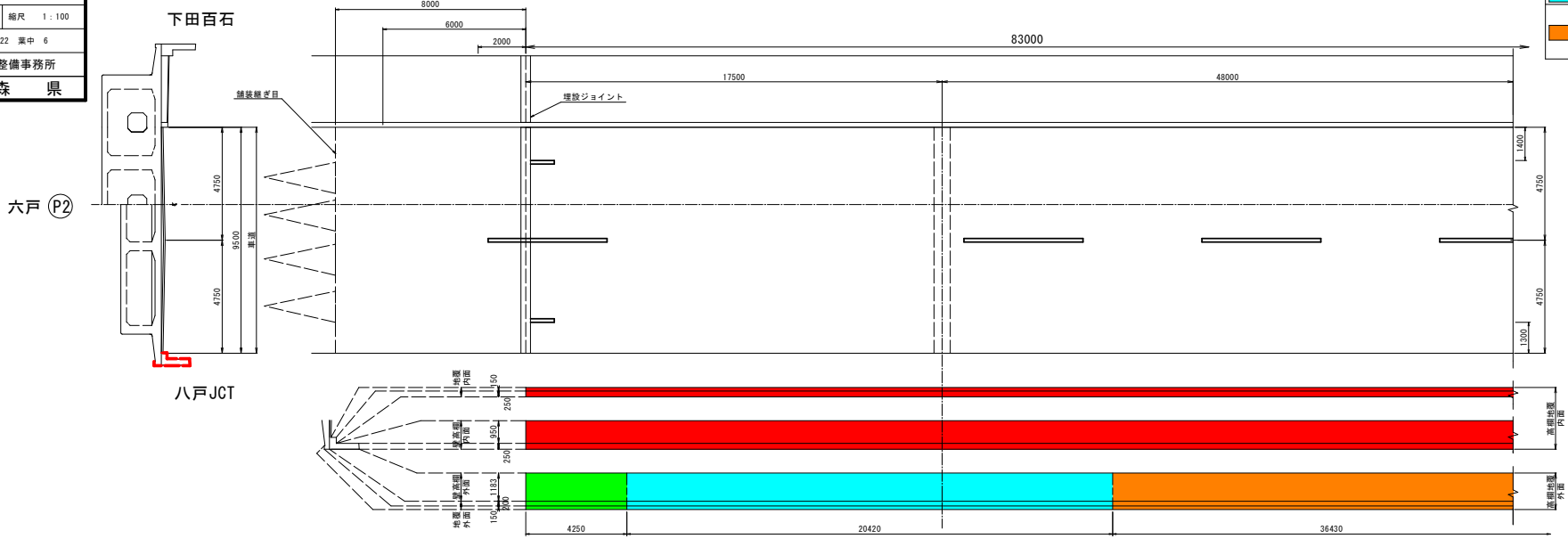
18/35

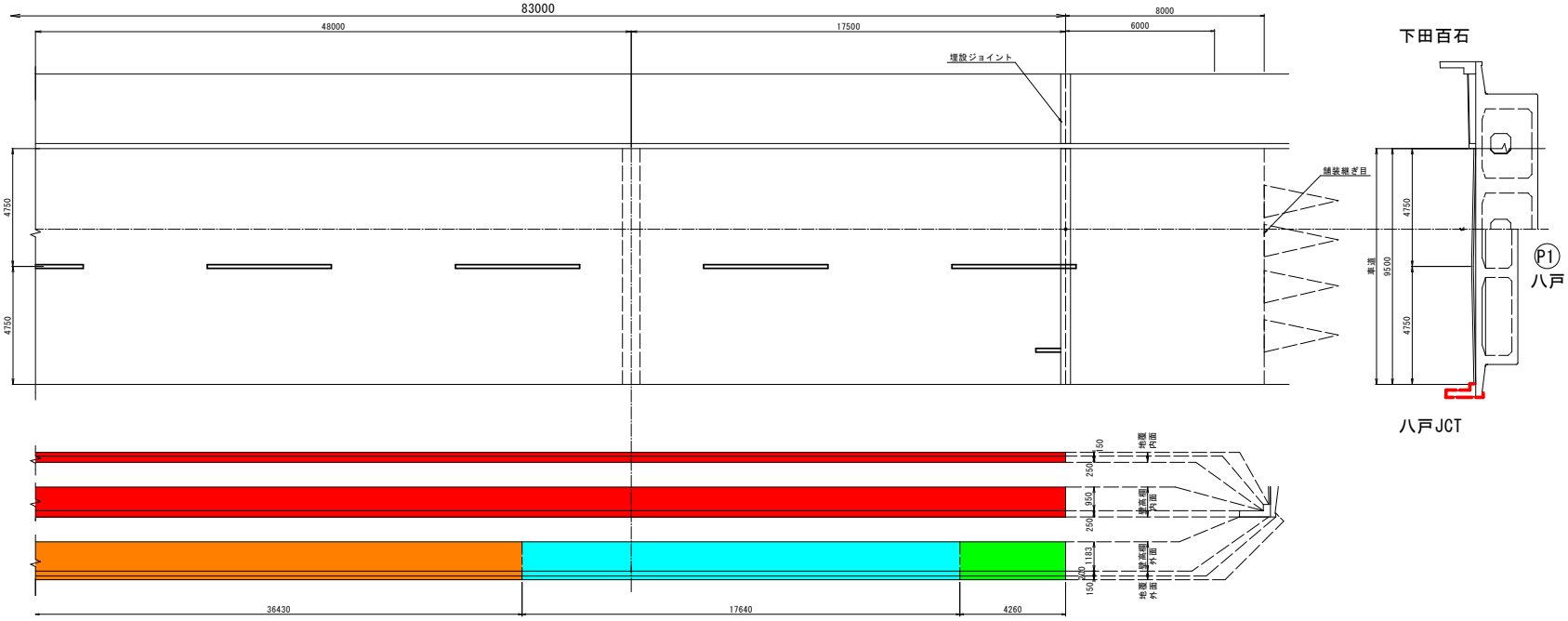
根岸山添橋　上部工表面処理工図（その1）　S=1:100

【車道側】壁高欄・地覆

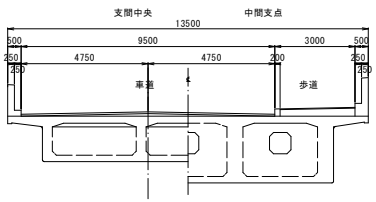
表面処理工　施工区分
凡　例

	県道内
	単管足場・点検車（昼間）
	点検車　昼間
	点検車　夜間 ※施工は6月と10月の 平日夜間の高速道路規制時のみ





主桁断面図　S=1：100



令和 8 年度　橋梁補修工事	
工事番号	承メンテ第430号
路線名 河川名	八戸三沢線（根岸山添橋）
施工箇所	青森県八戸市大字尻内町 地内
上部工表面処理工図（その2）	縮尺　1：100
図面番号	22　葉中　7
三八県土整備事務所	
青　森　県	

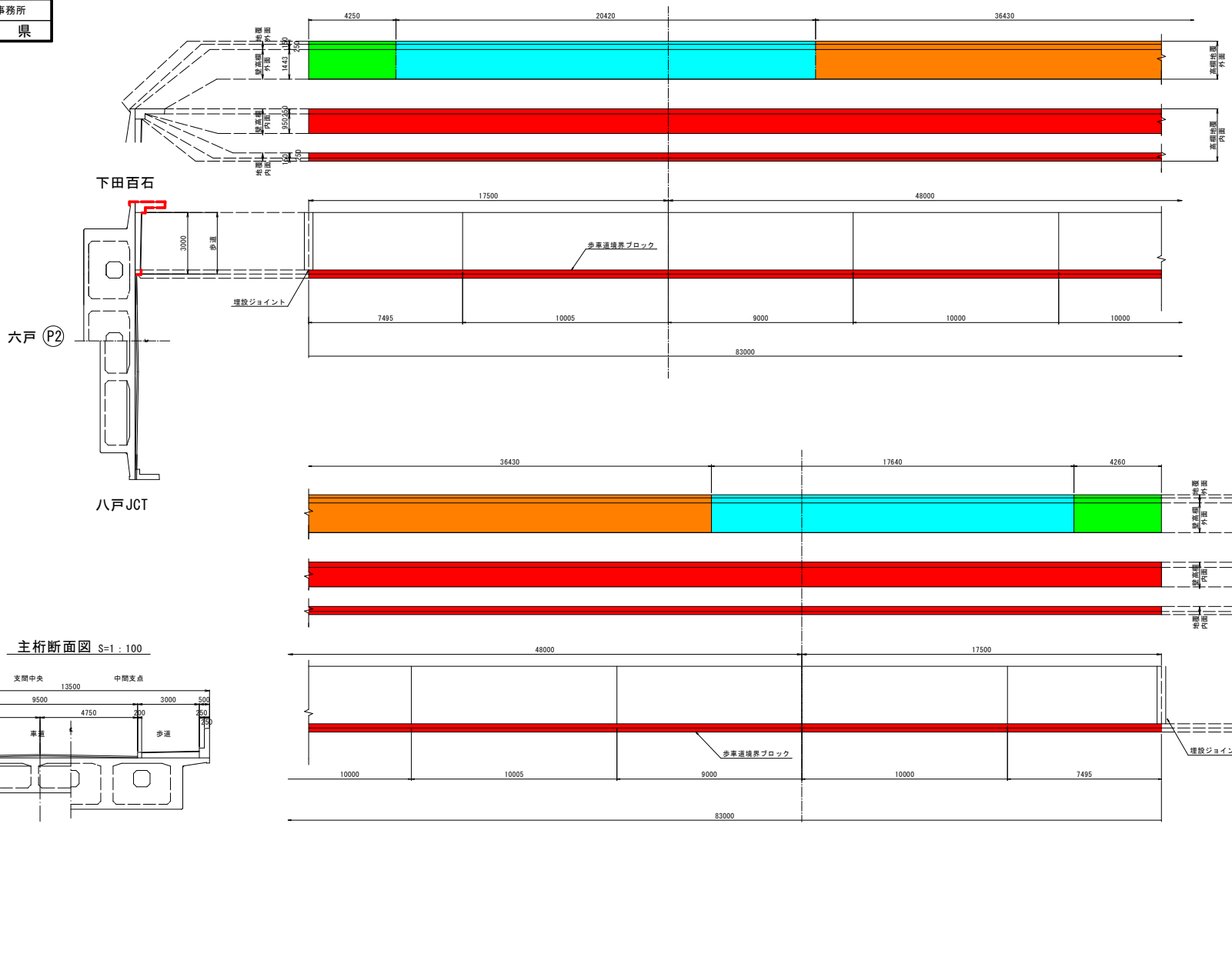
19/35

根岸山添橋　上部工表面処理工図（その2）　S=1:100

【歩道側】壁高欄・地覆

表面処理工　施工区分
凡　例

	県道内
	単管足場・点検車（昼間）
	点検車　昼間
	点検車　夜間 ※施工は6月と10月の 平日夜間の高速道路規制時のみ



主桁断面図　S=1：100

令和 8 年度　橋梁補修工事	
工事番号	承メンテ第430号
路線名 河川名	八戸三沢線（根岸山添橋）
施工箇所	青森県八戸市大字尻内町 地内
上部工表面処理工図（その3）	縮尺　1：100
図面番号	22　葉中　8
三八県土整備事務所	
青　森　県	

根岸山添橋　上部工表面処理工図（その3）　S=1:100

表面処理工　施工区分
凡　例

	県道内
	単管足場・点検車（昼間）
	点検車　昼間
	点検車　夜間 ※施工は6月と10月の 平日夜間の高速道路規制時のみ

下田百石

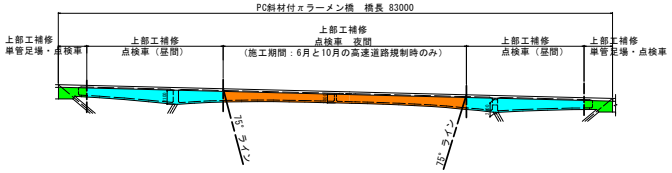
六戸 (P2)

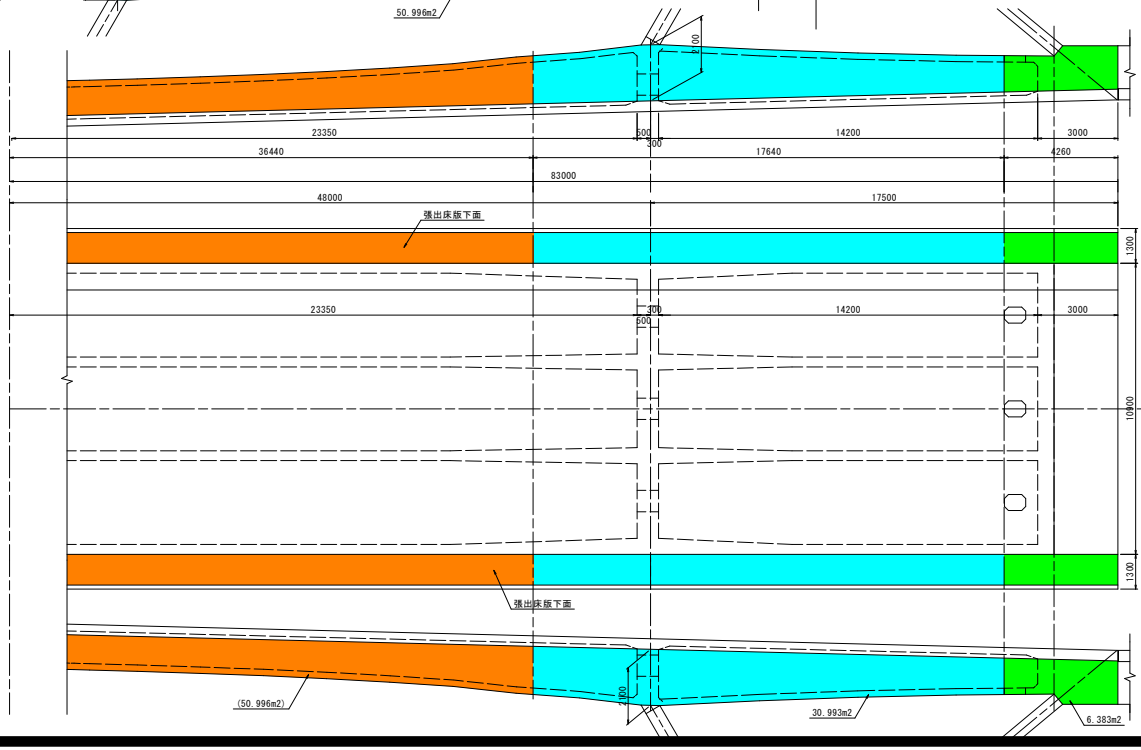
八戸JCT

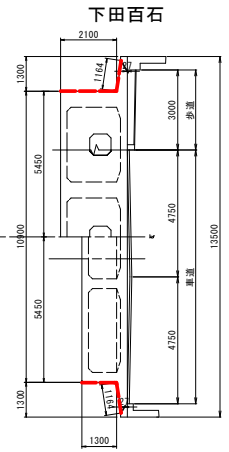
張出床版下面

6.545m2　35.569m2　50.996m2

# 施工区分図
S=1:400







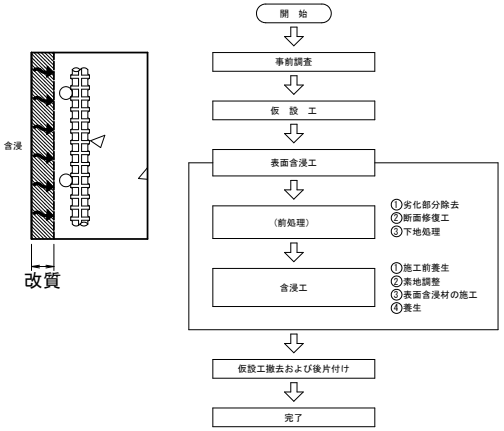
令和 8 年度　橋梁補修工事	
工事番号	承メンテ第430号
路線名 河川名	八戸三沢線（根岸山添橋）
施工箇所	青森県八戸市大字尻内町 地内
上部工表面処理工図（その4）	縮尺　1：100
図面番号	22　葉中　9
三八県土整備事務所	
青　森　県	

21
35

根岸山添橋　上部工表面処理工図（その4）

表面含浸工

表面含浸工のフローチャート



シラン系表面含浸材の施工仕様例

工　程		標準使用量（kg/m2）	施工方法	塗重ねの工程間隔
素地調整、下地処理		別途	－	－
下地の確認および清掃		別途	－	
1	浸透性ハイブリッド エチルシラン系撥水剤	0.1～0.2	吹付け，ローラー刷毛塗り	6～12時間以上

材 料 表

工　種	仕　様
表面含浸工	浸透性ハイブリッド エチルシラン系 （標準使用量0.2kg/m2）

注記

1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. 表面含浸工を適応する場合、無色透明であり実施可否がコンクリート表面で判断できない為、「補修履歴板」等で実施日を明示すること。
4. 表面含浸材の標準使用量や塗布日数は、施工部位，コンクリートの状態，材料の性状等によって決めること。

表面処理工　数量表

項目				主桁側面		張出床版						壁高欄												地覆												歩車道ブロック		施工区分別数量
												車道						歩道						車道						歩道								
施工区分	場所	区間長	場所	車道	歩道	車道			歩道			外側			内側			外側			内側			外側			内側			外側			内側					
		m		m2	m2	単位長（m）	区間面積（m2）	計面積（m2）	単位長（m）	区間面積（m2）	計面積（m2）	単位長（m）	区間面積（m2）	計面積（m2）	単位長（m）	区間面積（m2）	計面積（m2）	単位長（m）	区間面積（m2）	計面積（m2）	単位長（m）	区間面積（m2）	計面積（m2）	単位長（m）	区間面積（m2）	計面積（m2）	単位長（m）	区間面積（m2）	計面積（m2）	単位長（m）	区間面積（m2）	計面積（m2）	単位長（m）	区間面積（m2）	計面積（m2）	単位長（m）	計面積（m2）	
単管足場・橋梁点検車併用　昼間施工	P2側	4.25	外側	6.545	6.545		5.062	10.136		5.062	10.135		5.028	10.068		0	0		6.133	12.28		0	0		1.488	2.979		0	0		1.7	3.404		0	0			427.132
	P1側	4.26		6.383	6.383		5.074			5.074			5.040		0	0			6.147			0			1.491			0			1.704			0			
橋梁点検車　昼間施工	P2側	20.42	外側	35.569	35.569	1.191	24.32	45.329	1.191	24.32	45.329	1.183	24.157	45.025	0	0	0	1.443	29.466	54.921	0	0	0	0.35	7.147	13.321	0	0	0	0.4	8.168	15.224	0	0	0	0.371		
	P1側	17.64		30.993	30.993		21.009			21.009			20.868			0			25.455			0			6.174			0			7.056			0				
橋梁点検車　夜間施工 ※1	75°ライン内	36.43	外側	50.996	50.996		43.388	43.388		43.388	43.388		43.097	43.097		1.2	99.6		52.568	52.568		1.2	99.6		12.751	12.751		0	0		14.572	14.572		0	0			311.756
県道内		83	内側	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.2	99.6	99.6	0	0	0	1.2	99.6	99.6	0	0	0	0.4	33.2	33.2	0	0	0	0.4	33.2	33.2		30.793	292.265
（小計）（m2）												98.190	控除→	2.064	99.6			119.769		119.768	控除→	2.064	99.6		29.051	33.2	33.2			33.2	33.2							
小計（m2）				130.486	130.486		98.853			98.853			195.726						217.305					62.251					66.4								
計（m2）				260.972			197.706						413.03												128.651										30.793	
合計（m2）				1031.153																																	

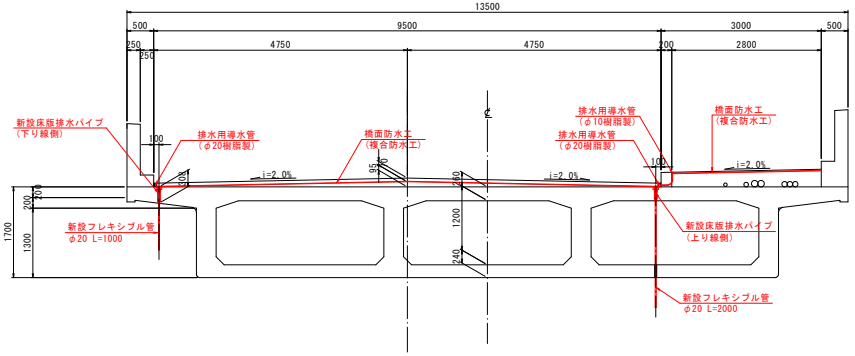
※1：施工は6月と10月の平日夜間の高速道路規制時のみ

根岸山添橋　橋面防水工詳細図（その1）

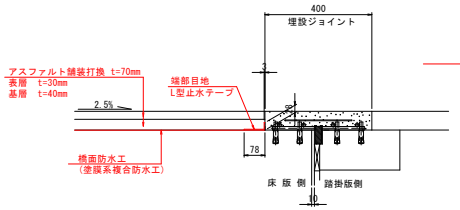
令和 8 年度　橋梁補修工事	
工事番号	承メンテ第430号
路線河川名	八戸三沢線（根岸山添橋）
施工箇所	青森県八戸市大字尻内町 地内
橋面防水工詳細図（その1）	縮尺　図示
図面番号	22　葉中　10
三八県土整備事務所	
青　森　県	

22
35

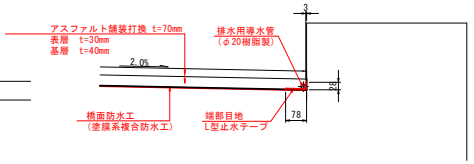
主桁断面図　縮尺　1:50



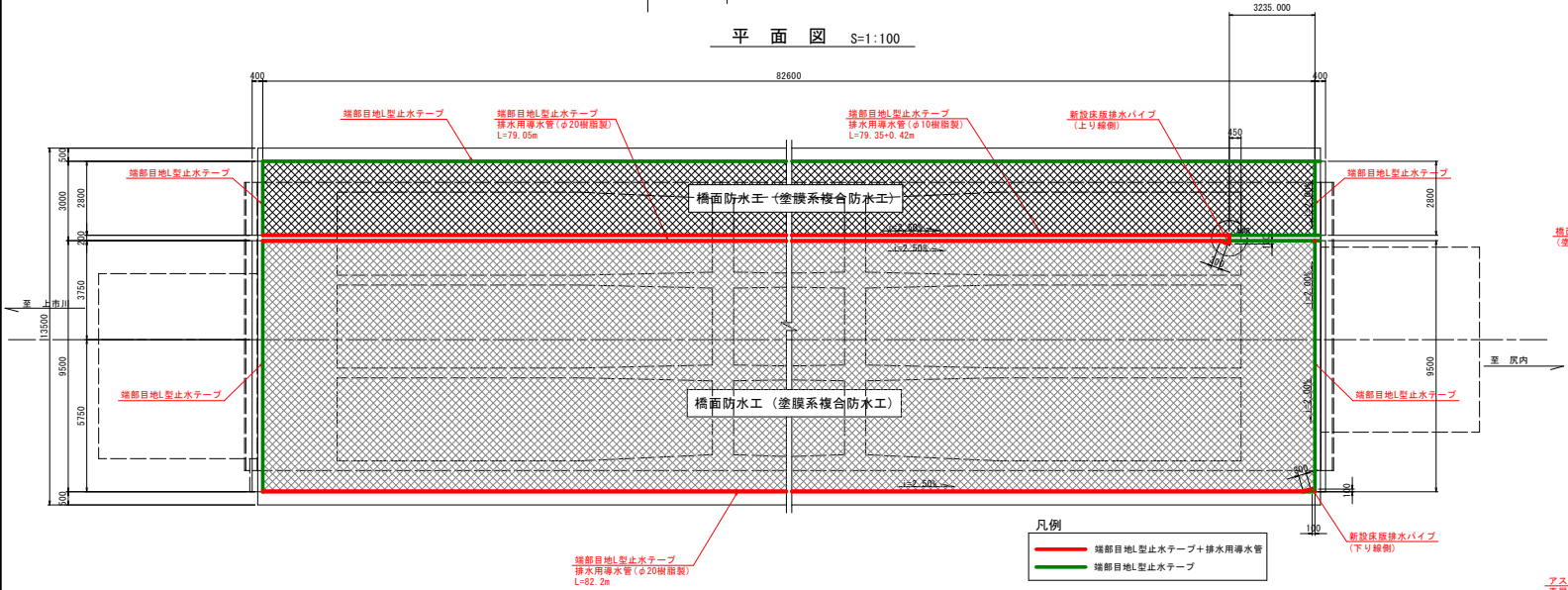
車道伸縮装置端部詳細図　S=1:10



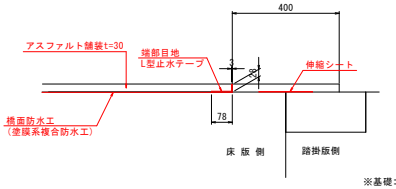
車道端部詳細図　S=1:10



平　面　図　S=1:100

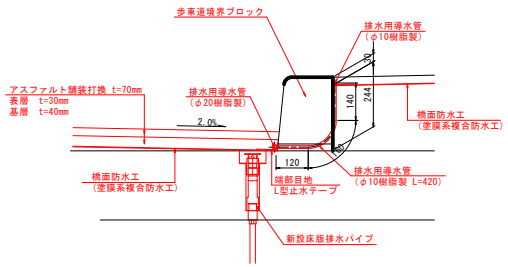


歩道伸縮装置端部詳細図　S=1:10

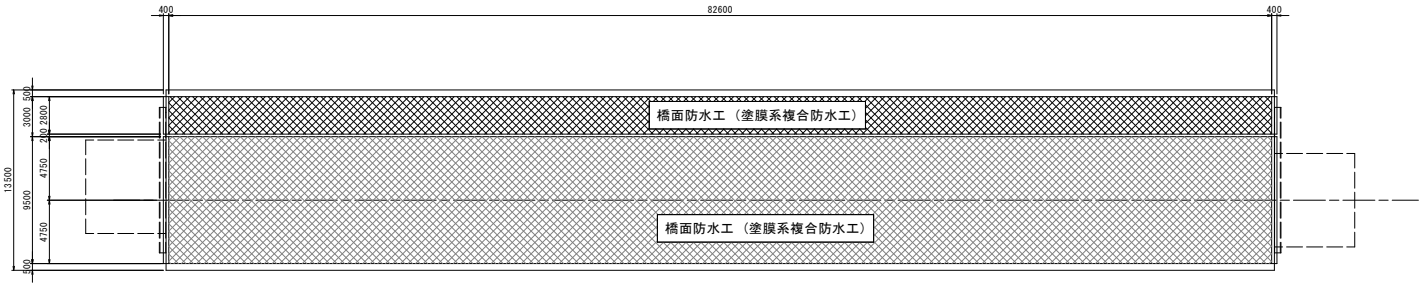


※基礎コンクリートは路肩部

A部詳細図　S=1:10



平　面　図　S=1:200



注記

1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当り、舗装厚の変化や寸法等は再度現地検測を行って確認し、縦.横断勾配の流水方向を確認し導水管の設置を行うものとする。
3. 床版排水パイプ設置の際の床版コンクリート削孔時には、鉄筋探査を行い、既設鉄筋を切断しないように十分に注意すること。
4. 舗装撤去後、床版上面を点検し、コンクリート脆弱部については補修を行うこと。

令和 8 年度　橋梁補修工事		
工事番号	承メンテ第430号	
路線河川名	八戸三沢線(根岸山添橋)	
施工箇所	青森県八戸市大字尻内町 地内	
橋面防水工詳細図(その2)	縮尺	図示
図面番号	22　葉中　11	
三八県土整備事務所		
青　森　県		

23/35

根岸山添橋　橋面防水工詳細図(その2)

数量表

名　称	備　考	数　量
排水用導水管(車道部)	φ20	161.9　m
排水用導水管(歩道部)	φ10	79.8　m
防水層	塗膜系複合防水工	※1　1016.0　m2
端部目地(車道部)	L型止水テープ（橋梁端部用）	184.2　m
	接着剤（0.2リッター/m2）	※2　3.9 リッター
端部目地(歩道部)	L型止水テープ（橋梁端部用）	170.8　m
	接着剤（0.2リッター/m2）	※3　3.6 リッター
床版排水パイプ	φ43	2　個
フレキシブル管	φ20	3.0　m
コア削孔	φ100	2　箇所
	φ50	2　箇所
	φ30	1　箇所
鉄筋探査		※4　0.3　m2

※1　A1=(9.500+2.800)×82.600　　= 1015.980 m2

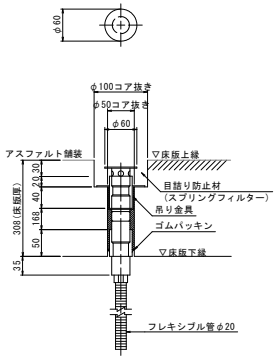
※2　L=(82.600+9.500)×2　　= 184.200 m
A1=184.200×(0.078+0.028)×0.2/m2リッター= 3.905 リッター

※3　L=(82.600+2.800)×2　　= 170.800 m
A1=170.800×(0.078+0.028)×0.2/m2リッター= 3.621 リッター

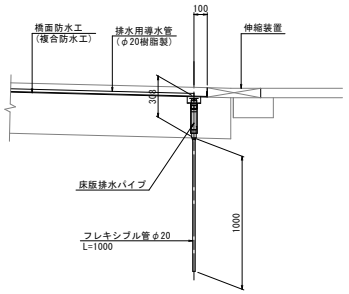
※4　L=0.300×0.300×3　　= 0.270 m2

下り線側排水パイプ

床版排水パイプ詳細図 S=1:5

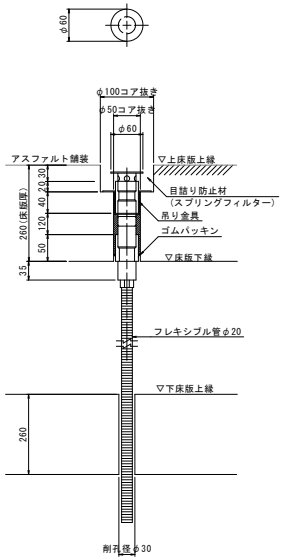


側排水パイプ敷設図 S=1:20

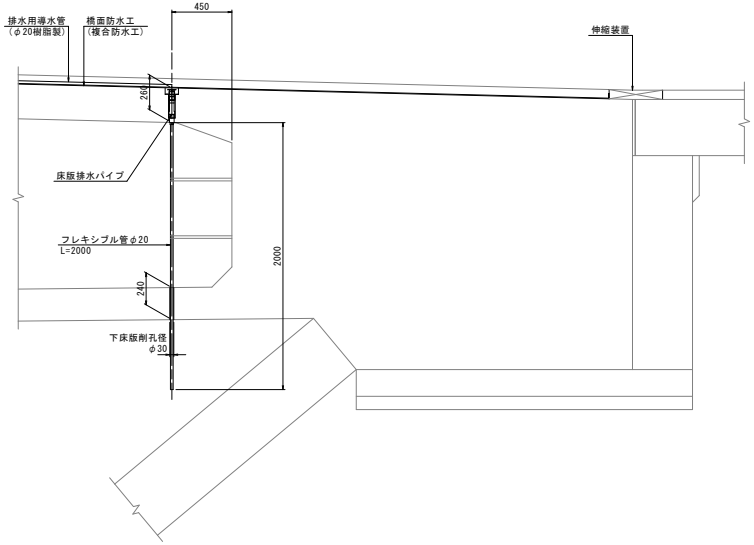


上り線側排水パイプ

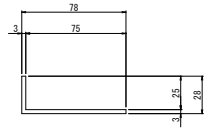
床版排水パイプ詳細図 S=1:5



側排水パイプ敷設図 S=1:20

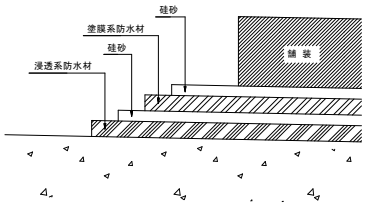


L型止水テープ S=1:2

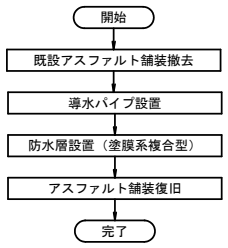


※ 本材料は、地覆や伸縮装置後打ちコンとの接触部
（舗装端部）に設置する。
※ 接着剤は全面塗布とする（使用量0.2リッター/m2）。

塗膜系複合防水工詳細図



施工フロー



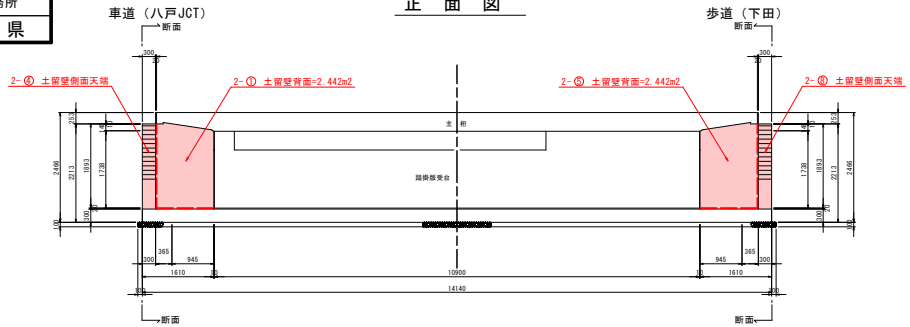
令和 8 年度　橋梁補修工事		
工事番号	承メンテ第430号	
路線名 河川名	八戸三沢線（根岸山添橋）	
施工箇所	青森県八戸市大字尻内町 地内	
土留壁表面処理工図（その1）	縮尺	図示
図面番号	22　葉中　12	
三八県土整備事務所		
青　森　県		

24/35

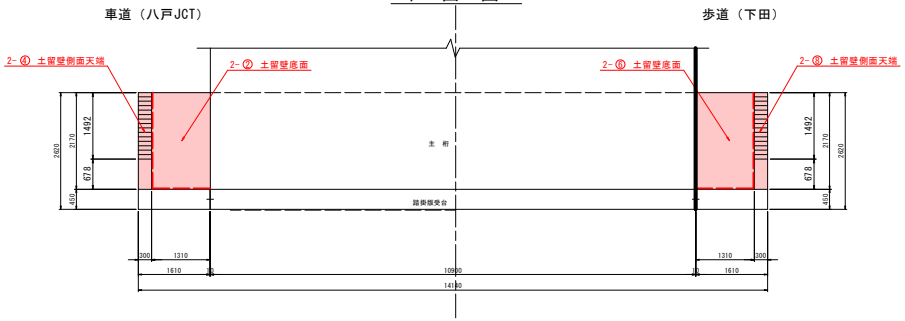
根岸山添橋　土留壁表面処理工図（その1）　S=1:60

P2

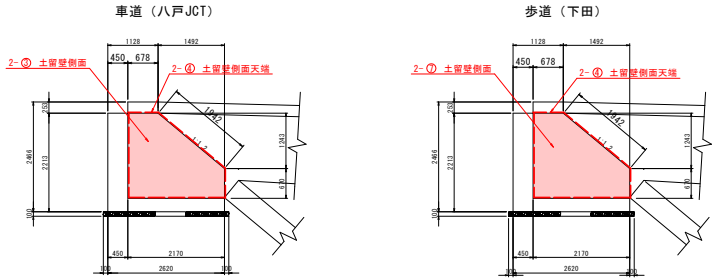
正面図



平面図

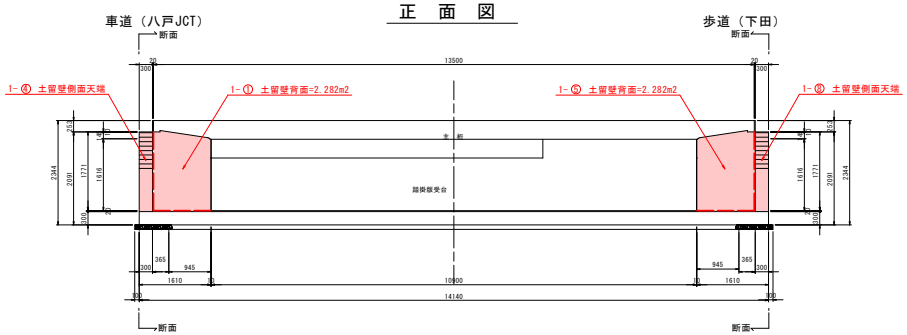


側面図

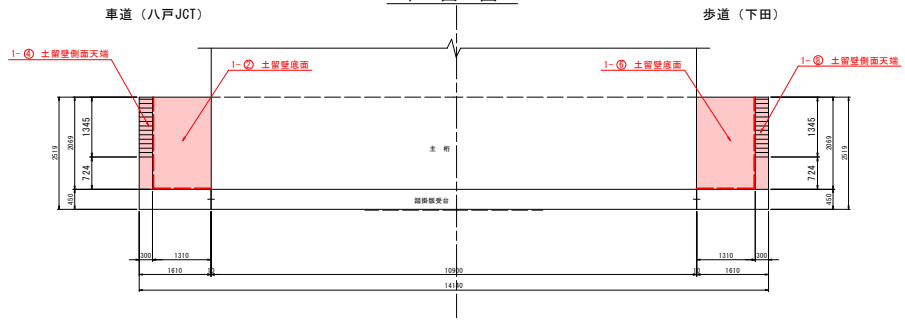


P1

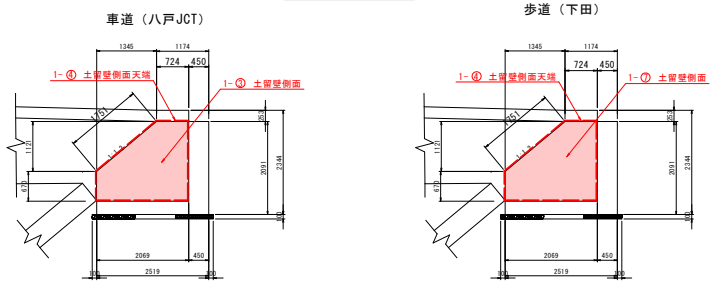
正面図



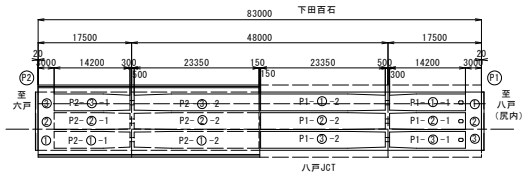
平面図



側面図



位置図　S=1：500



凡例

	表面処理工

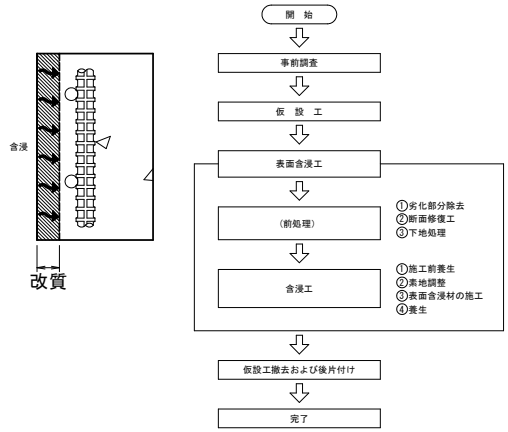
令和 8 年度　橋梁補修工事		
工事番号	承メンテ第430号	
路線名 河川名	八戸三沢線(根岸山添橋)	
施工箇所	青森県八戸市大字尻内町 地内	
土留壁表面処理工図(その2)	縮尺	1：100
図面番号	22　葉中　13	
三八県土整備事務所		
青　森　県		

25/35

根岸山添橋　土留壁表面処理工図(その2)

表面含浸工

表面含浸工のフローチャート



表面処理工　数量表

工　法	箇　所		寸　法		数　量
表面含浸工	P2車道側	背面 ①	2.442 (CAD求積)	=	2.442 m2
		底面 ②	2.170×1.310	=	2.843 m2
		側面 ③	1/2×(0.678+2.170)×1.243+2.170×0.670	=	3.224 m2
		天端 ④	(0.678+1.942+0.670)×0.300	=	0.987 m2
	P2歩道側	背面 ⑤	2.442 (CAD求積)	=	2.442 m2
		底面 ⑥	2.170×1.310	=	2.843 m2
		側面 ⑦	1/2×(0.678+2.170)×1.243+2.170×0.670	=	3.224 m2
		天端 ⑧	(0.678+1.942+0.670)×0.300	=	0.987 m2
	P1車道側	背面 ①	2.282 (CAD求積)	=	2.282 m2
		底面 ②	2.069×1.310	=	2.710 m2
		側面 ③	1/2×(0.724+2.069)×1.121+2.069×0.670	=	2.952 m2
		天端 ④	(0.724+1.751+0.670)×0.300	=	0.944 m2
	P1歩道側	背面 ⑤	2.282 (CAD求積)	=	2.282 m2
		底面 ⑥	2.069×1.310	=	2.710 m2
		側面 ⑦	1/2×(0.724+2.069)×1.121+2.069×0.670	=	2.952 m2
		天端 ⑧	(0.724+1.751+0.670)×0.300	=	0.944 m2
	合　計			=	36.768 m2

シラン系表面含浸材の施工仕様例

工　程		標準使用量 (kg/m2)	施工方法	塗重ねの工程間隔
素地調整、下地処理		別途	-	-
下地の確認および清掃		別途	-	
1	浸透性ハイブリッド エチルシラン系撥水剤	0.1～0.2	吹付け，ローラー刷毛塗り	6～12時間以上

材 料 表

工　種	仕　様
表面含浸工	浸透性ハイブリッド エチルシラン系 (標準使用量0.2kg/m2)

注記

1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. 表面含浸工を適応する場合、無色透明であり実施可否がコンクリート表面で判断できない為、「補修履歴板」等で実施日を明示すること。
4. 表面含浸材の標準使用量や塗布日数は、施工部位，コンクリートの状態，材料の性状等によって決めること。

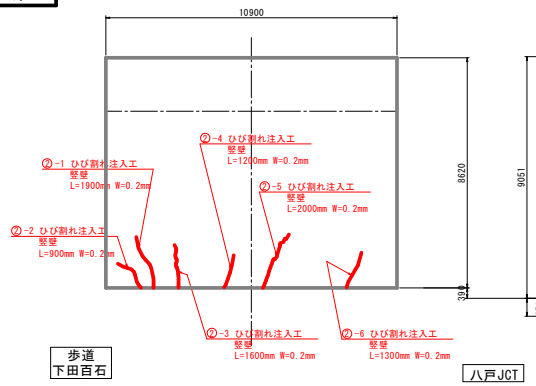
令和 8 年度　橋梁補修工事	
工事番号	承メンテ第430号
路線名 河川名	八戸三沢線（根岸山添橋）
施工箇所	青森県八戸市大字尻内町 地内
下部工補修図（その1）	縮尺　図示
図面番号	22　葉中　14
三八県土整備事務所	
青　森　県	

27/35

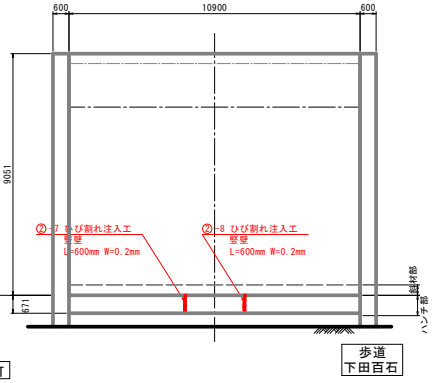
根岸山添橋　下部工補修図（その1）　S=1:100

P2

P2　内側

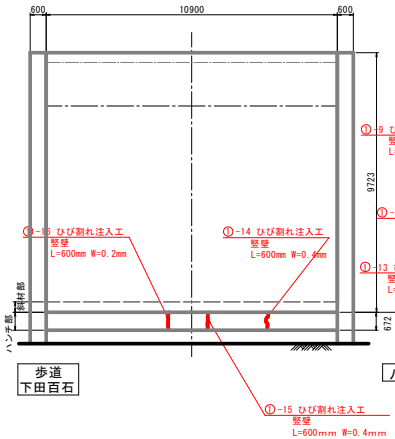


P2　高速側

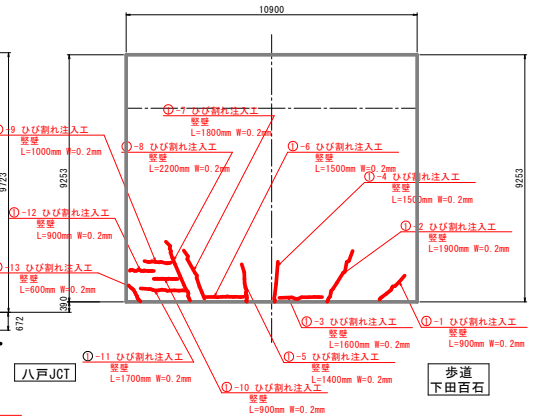


P1

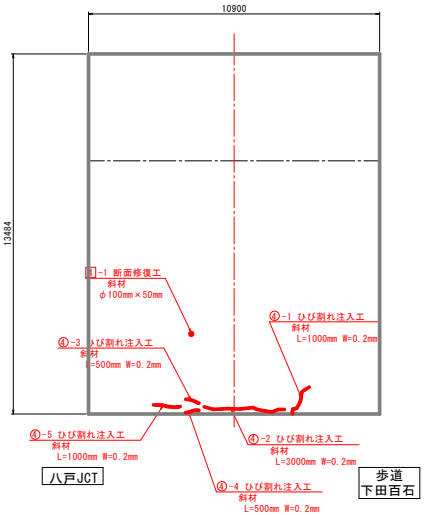
P1　高速側



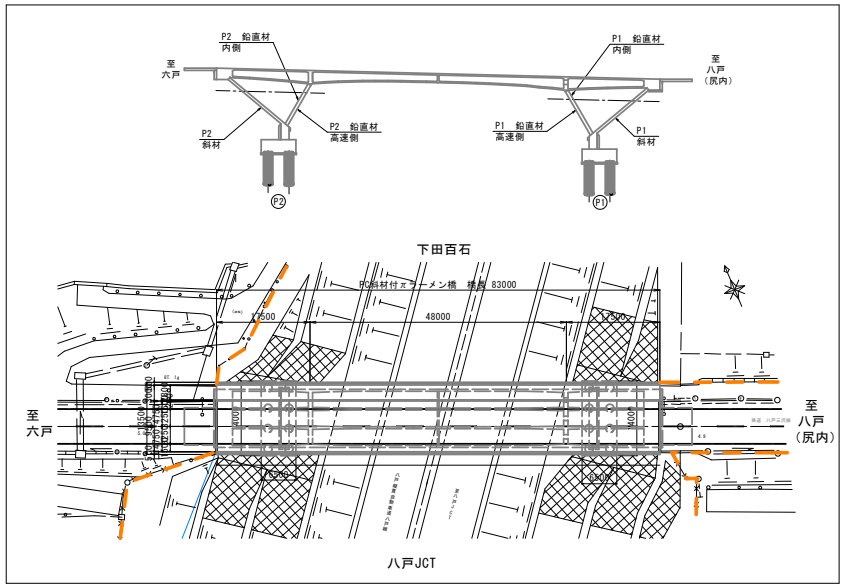
P1　内側



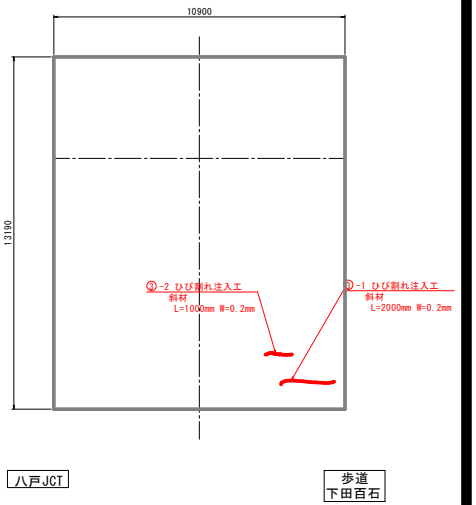
P2　斜材



位置図　S=1:500



P1　斜材



凡　例

	ひび割れ注入工
	断面修復工

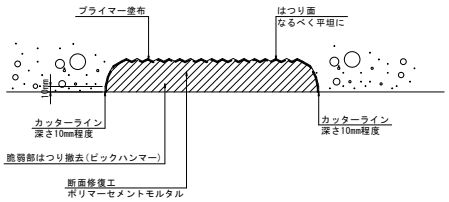
令和 8 年度　橋梁補修工事	
工事番号	承メンテ第430号
路線名 河川名	八戸三沢線(根岸山添橋)
施工箇所	青森県八戸市大字尻内町 地内
下部工補修図(その2)	縮尺　1：5
図面番号	22　葉中　15
三八県土整備事務所	
青　森　県	

28/35

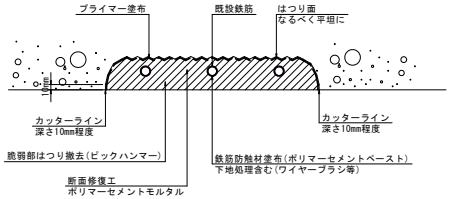
根岸山添橋　下部工補修図(その2)

断面修復工［左官工法］

鉄筋防錆処理無

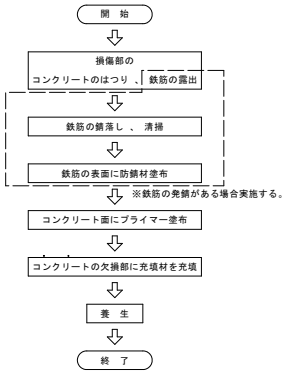


鉄筋防錆処理有



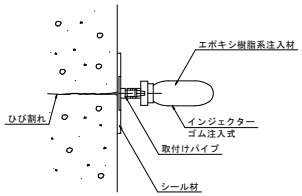
注）うき、欠損部でもはつりにより鉄筋が露出した場合は上図により施工すること。

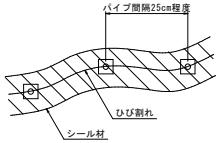
断面修復工フロー



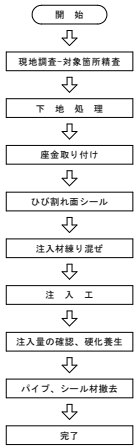
ひび割れ補修工

ひび割れ注入工





ひび割れ注入工のフローチャート



ひび割れ修復工　数量表

工　法	箇　所	番　号	幅(mm)	延　長 (m)
ひび割れ注入工	①P1竪壁	①- 1	0.2	0.900
		①- 2	0.2	1.900
		①- 3	0.2	1.600
		①- 4	0.2	1.500
		①- 5	0.2	1.400
		①- 6	0.2	1.500
		①- 7	0.2	1.800
		①- 8	0.2	2.200
		①- 9	0.2	1.000
		①- 10	0.2	0.900
		①- 11	0.2	1.700
		①- 12	0.2	0.900
		①- 13	0.2	0.600
		①- 14	0.4	0.600
		①- 15	0.4	0.600
		①- 16	0.2	0.600
	②P2竪壁	②- 1	0.2	1.900
		②- 2	0.2	0.900
		②- 3	0.2	1.600
		②- 4	0.2	1.200
		②- 5	0.2	2.000
		②- 6	0.2	1.300
		②- 7	0.2	0.600
		②- 8	0.2	0.600
	③P1斜材	③- 1	0.2	2.000
		③- 2	0.2	1.000
	④P2斜材	④- 1	0.2	1.000
		④- 2	0.2	3.000
		④- 3	0.2	0.500
		④- 4	0.2	0.500
		④- 5	0.2	1.000
			合　計	38.800 m

断面修復工　数量表

(ポリマーセメントモルタル)

工　法	箇　所	番号	寸　法	数　量
左官工法	P2斜材	1	1/4×π×0.100x0.100×0.050 =	0.001 m3
			合　計	0.001 m3

注記
1. 施工前にひび割れ延長、ひび割れ幅の調査を実施し、補修箇所を特定すること。
2. ひび割れ部は注入器具の取付及びシール前にワイヤーブラシ等で清掃すること。
3. ひび割れ幅及び注入量により、注入パイプ取付間隔を検討すること。
4. 注入材はポリマーセメント系とするが、現場条件等により変更する場合は事前に監督員と協議すること。
5. 施工条件及び規格等は、使用材料の施工方法に準拠し適正に管理すること。
6. 使用材料の検収については、監督員に確認を得ること。
7. 使用材料については、事前に監督員に承認を得ること。

注記
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. コンクリートの脆弱部は確実にはつり落し、補修を行うこと。はつりは最低30mm以上は行うこと。
4. 表面保護工を適応する場合、無色透明であり実施可否がコンクリート表面で判断できない為、「補修履歴板」等で実施日を明示すること。
5. ケイ酸ナトリウム系表面含浸材の標準使用量や塗布日数は、施工部位,コンクリートの状態,材料の性状等によって決めること。

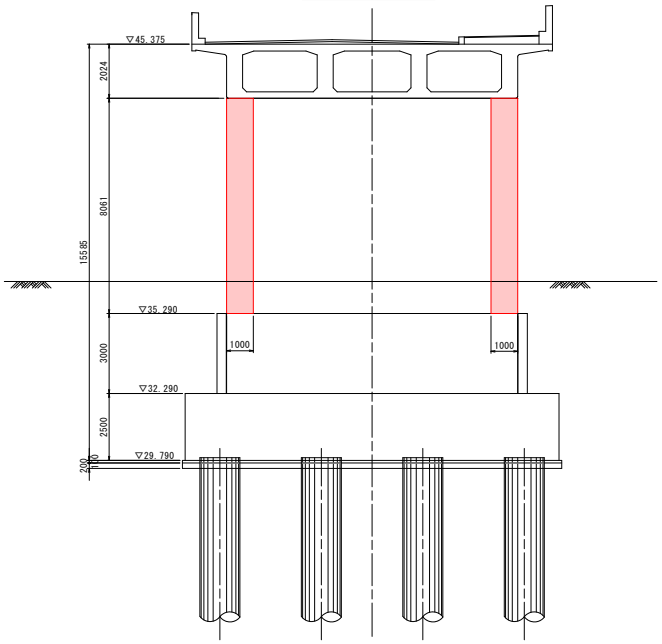
根岸山添橋　下部工表面処理工図(その1)　S=1:100

令和 8 年度　橋梁補修工事	
工事番号	承メンテ第430号
路線名 河川名	八戸三沢線(根岸山添橋)
施工箇所	青森県八戸市大字尻内町 地内
下部工表面処理工図(その1)	縮尺　1：100
図面番号	22　葉中　16
三八県土整備事務所	
青　森　県	

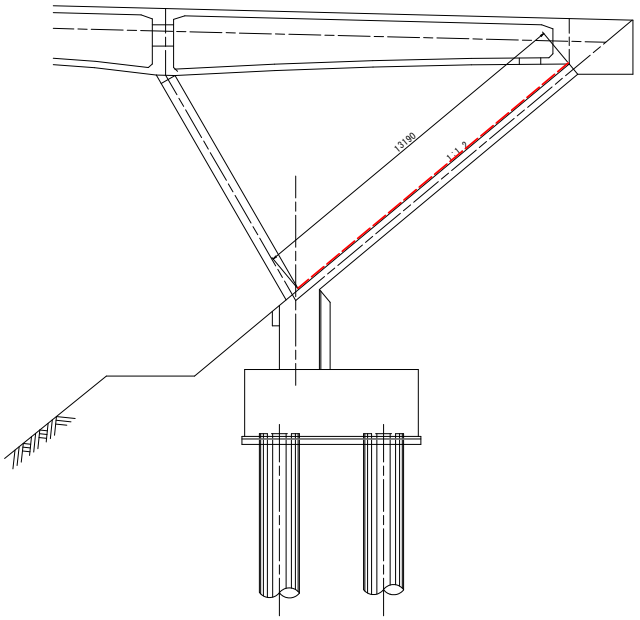
29/35

P1斜材

正　面　図

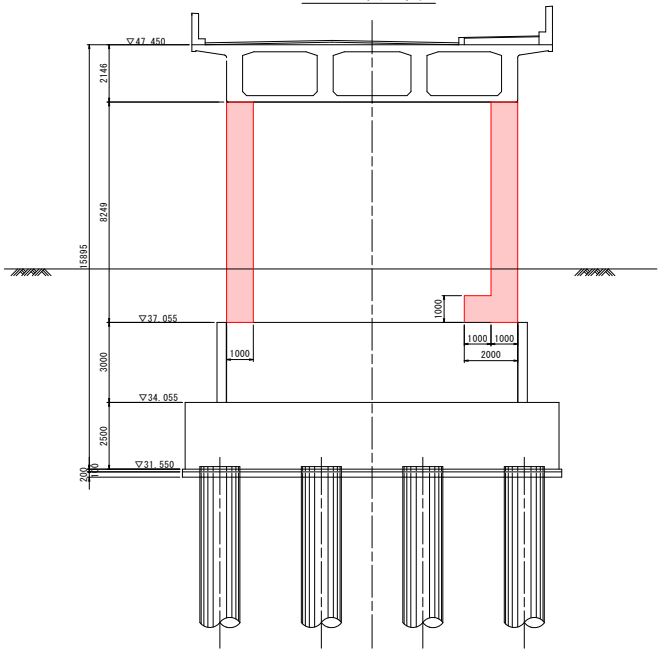


断　面　図

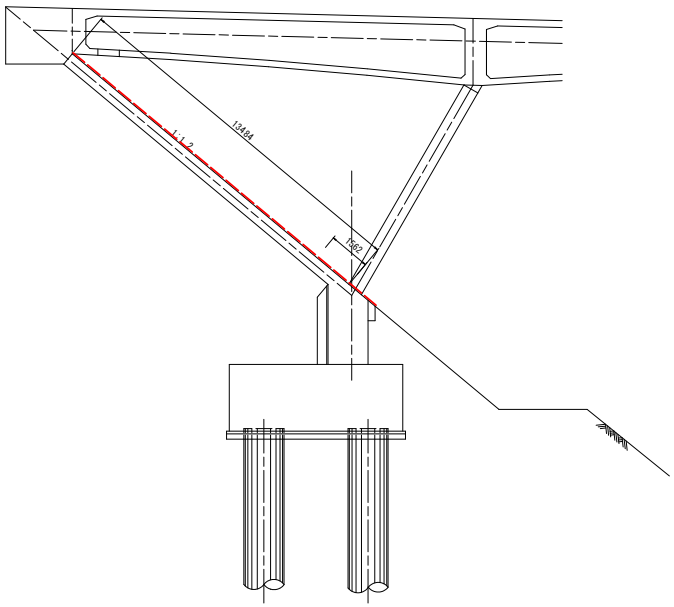


P2斜材

正　面　図



断　面　図



凡　例

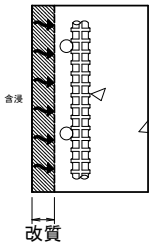
	表面処理工

令和 8 年度　橋梁補修工事		
工事番号	承メンテ第430号	
路線名 河川名	八戸三沢線(根岸山添橋)	
施工箇所	青森県八戸市大字尻内町 地内	
下部工表面処理工図(その2)	縮尺	1：100
図面番号	22　葉中　17	
三八県土整備事務所		
青　森　県		

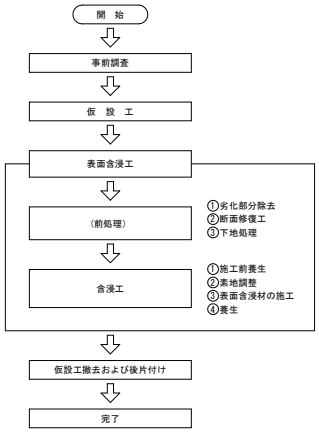
30
35

根岸山添橋　下部工表面処理工図(その2)

表面含浸工



表面含浸工のフローチャート



表面処理工　数量表

工　法	箇　所		寸　法		数　量
表面含浸工	P1斜材	正面	13.190×1.000×2	=	26.380　m2
	P2斜材	正面	13.484×1.000×2+1.000×1.000	=	27.968　m2
			合　計	=	54.348　m2

注記

1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. 表面含浸工を適応する場合、無色透明であり実施可否がコンクリート表面で判断できない為、「補修履歴板」等で実施日を明示すること。
4. 表面含浸材の標準使用量や塗布日数は、施工部位、コンクリートの状態、材料の性状等によって決めること。

シラン系表面含浸材の施工仕様例

工　程		標準使用量 (kg/m2)	施工方法	塗重ねの工程間隔
素地調整、下地処理		別途	-	-
下地の確認および清掃		別途	-	
1	浸透性ハイブリッド エチルシラン系撥水剤	0.1～0.2	吹付け，ローラー刷毛塗り	6～12時間以上

材 料 表

工　種	仕　様
表面含浸工	浸透性ハイブリッド エチルシラン系 (標準使用量0.2kg/m2)

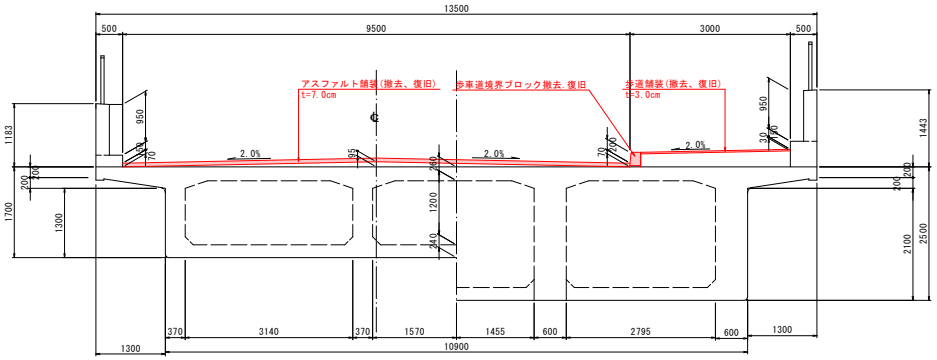
根岸山添橋　既設撤去復旧工図

令和 8 年度　橋梁補修工事	
工事番号	承メンテ第430号
路線河川名	八戸三沢線(根岸山添橋)
施工箇所	青森県八戸市大字尻内町 地内
既設撤去復旧工図	縮尺　図示
図面番号	22　葉中　18
三八県土整備事務所	
青　森　県	

31/35

断　面　図 S=1:50

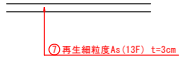
支間中央　　中間支点



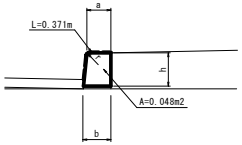
車道舗装復旧工 S=1:10



歩道舗装復旧工 S=1:10

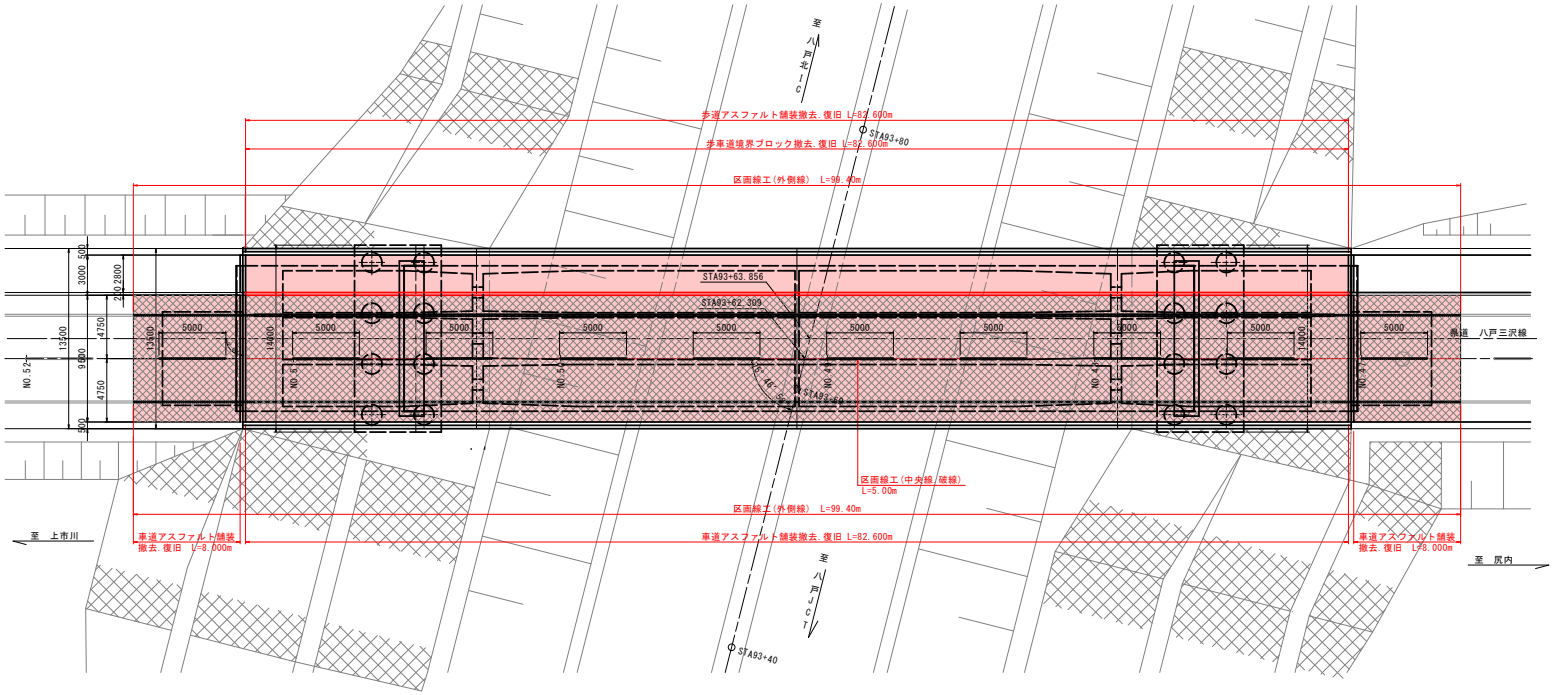


歩車道境界ブロック撤去.復旧寸法図



呼び名	頂版幅 a	底版幅 b	全　高 h	r	製品長 L	参考質量 kg/本
B	180	205	250	30	600	66

平　面　図 S=1:200



注記
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

根岸山添橋　仮設計画図

（ 上部工参考図 ）

令和 8 年度　橋梁補修工事	
工事番号	承メンテ第430号
路線河川名	八戸三沢線（根岸山添橋）
施工箇所	青森県八戸市大字尻内町 地内
仮設計画図	縮尺　図示
図面番号	22　葉中　19
三八県土整備事務所	
青　森　県	

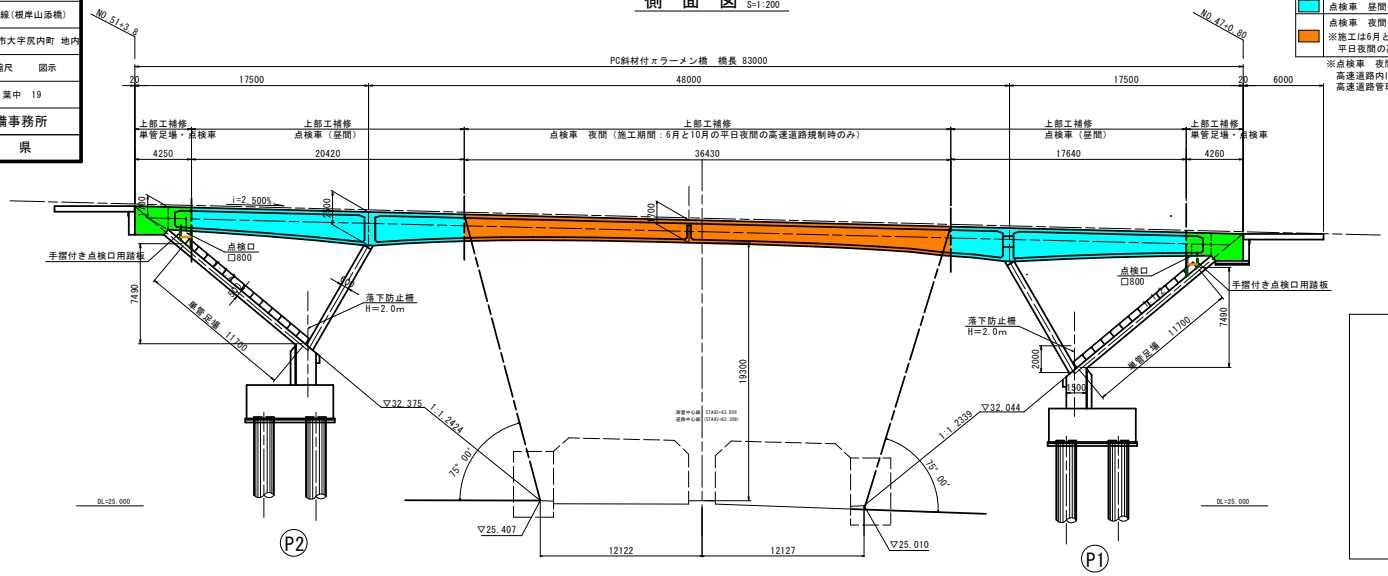
32
35

上部工表面処理工　施工区分
凡　例

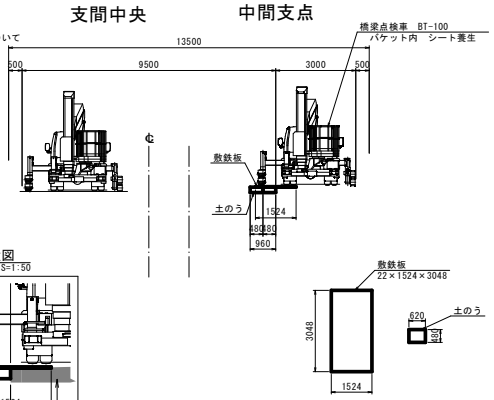
県道内
単管足場・点検車（昼間）
点検車　昼間
点検車　夜間
※施工は6月と10月の平日夜間の高速道路規制時のみ

※点検車　夜間について
高速道路内に誘導員配置の有無について
高速道路管理者に確認を行うこと。

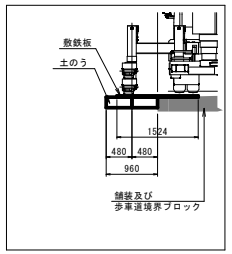
側　面　図 S=1:200



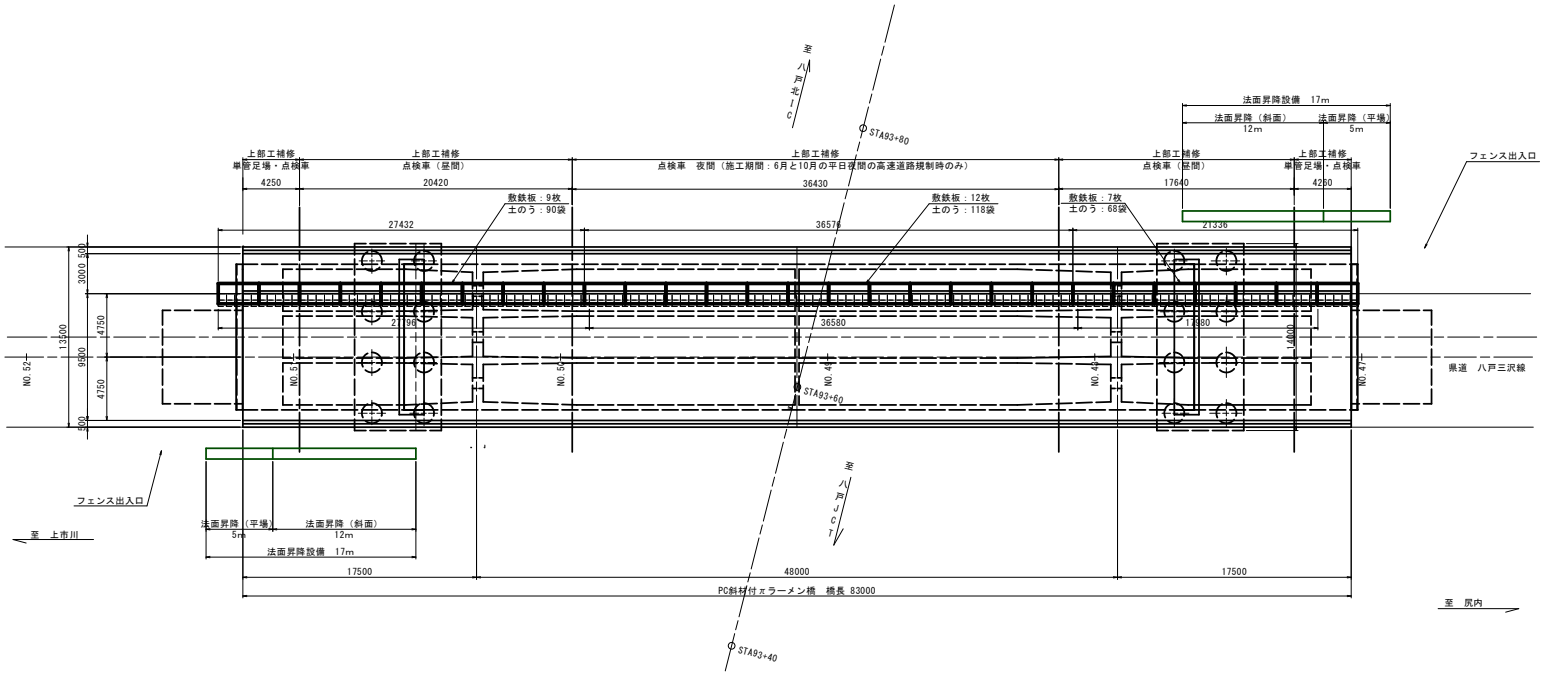
断　面　図 S=1:100



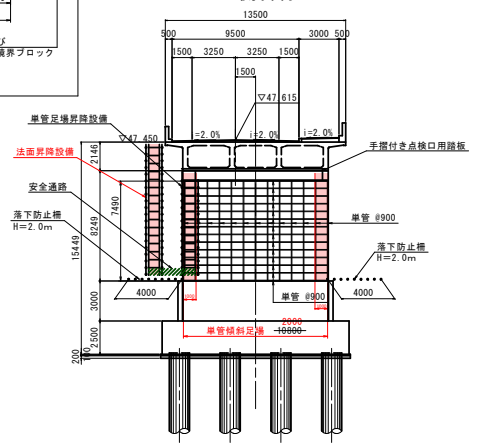
敷鉄板配置図 S=1:50



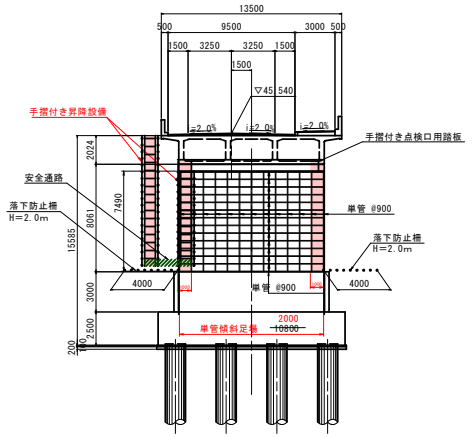
平　面　図 S=1:200



P1側斜材



P2側斜材



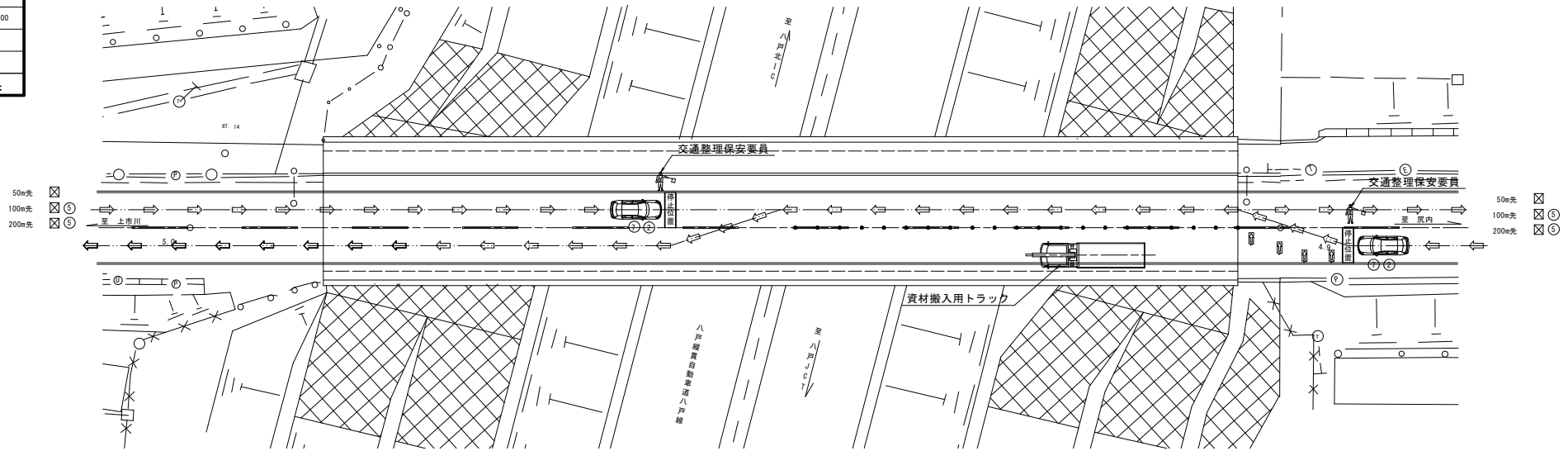
令和 8 年度　橋梁補修工事	
工事番号	承メンテ第430号
路線名 河川名	八戸三沢線（根岸山添橋）
施工箇所	青森県八戸市大字尻内町 地内
交通規制計画図（その1）	縮尺　1：200
図面番号	22　葉中　20
三八県土整備事務所	
青　森　県	

根岸山添橋　交通規制計画図（その1）　S=1:200

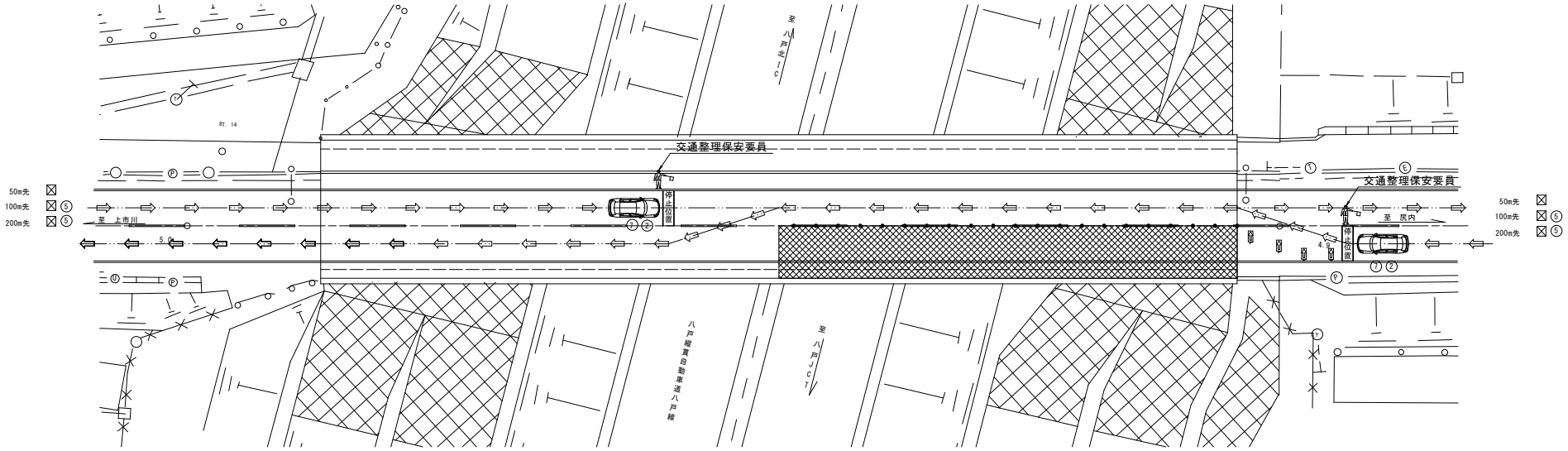
（ 参 考 図 ）

①単管足場設置期間

（桁内部と下部工補修用足場）



②下り線尻内側　床版防水層（車道）敷設時



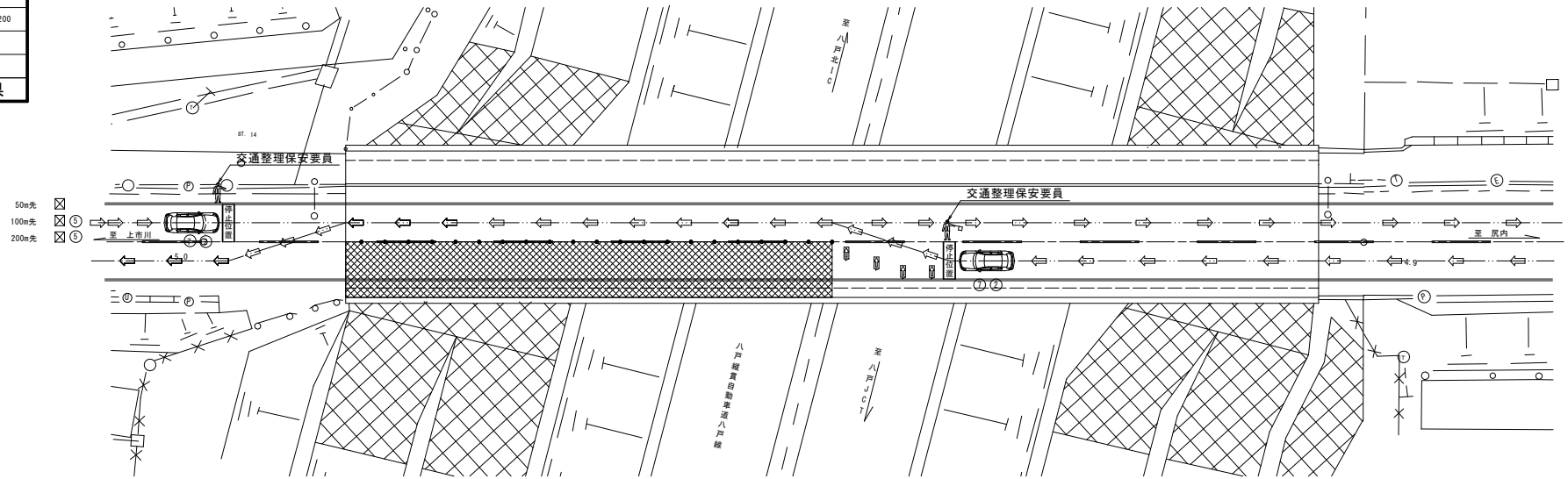
令和 8 年度　橋梁補修工事	
工事番号	承メンテ第430号
路線名 河川名	八戸三沢線（根岸山添橋）
施工箇所	青森県八戸市大字尻内町 地内
交通規制計画図（その2）	縮尺　1：200
図面番号	22　葉中　21
三八県土整備事務所	
青　森　県	

34/35

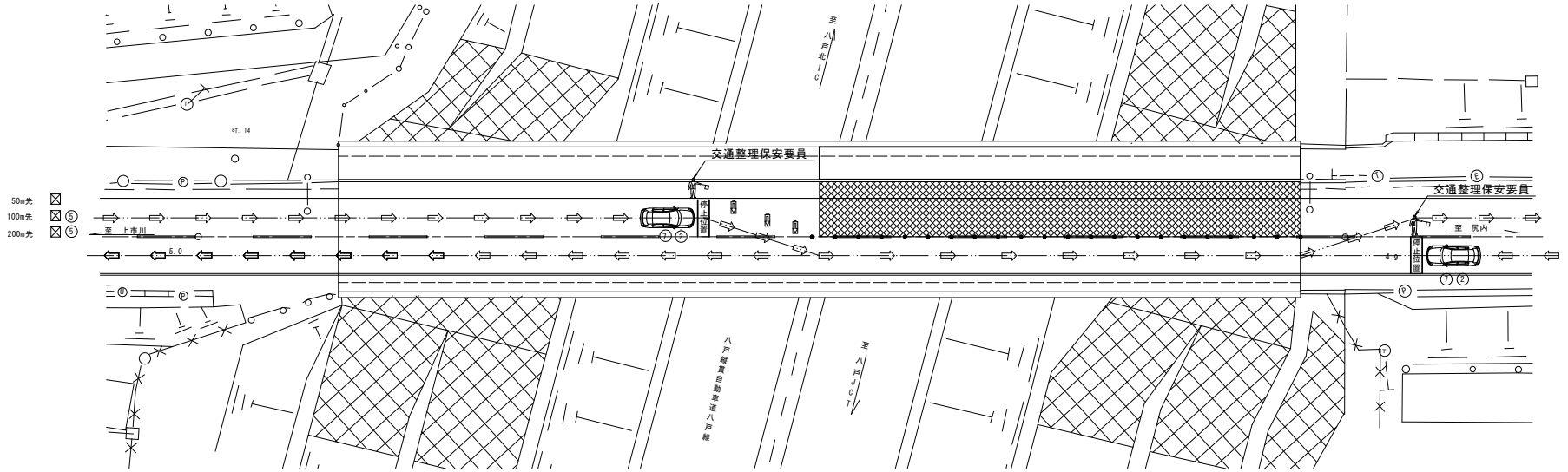
根岸山添橋 交通規制計画図（その2）　S=1:200

（ 参 考 図 ）

③下り線上市川側　床版防水層（車道）敷設時



④上り線尻内側　床版防水層（車道.歩道）敷設時



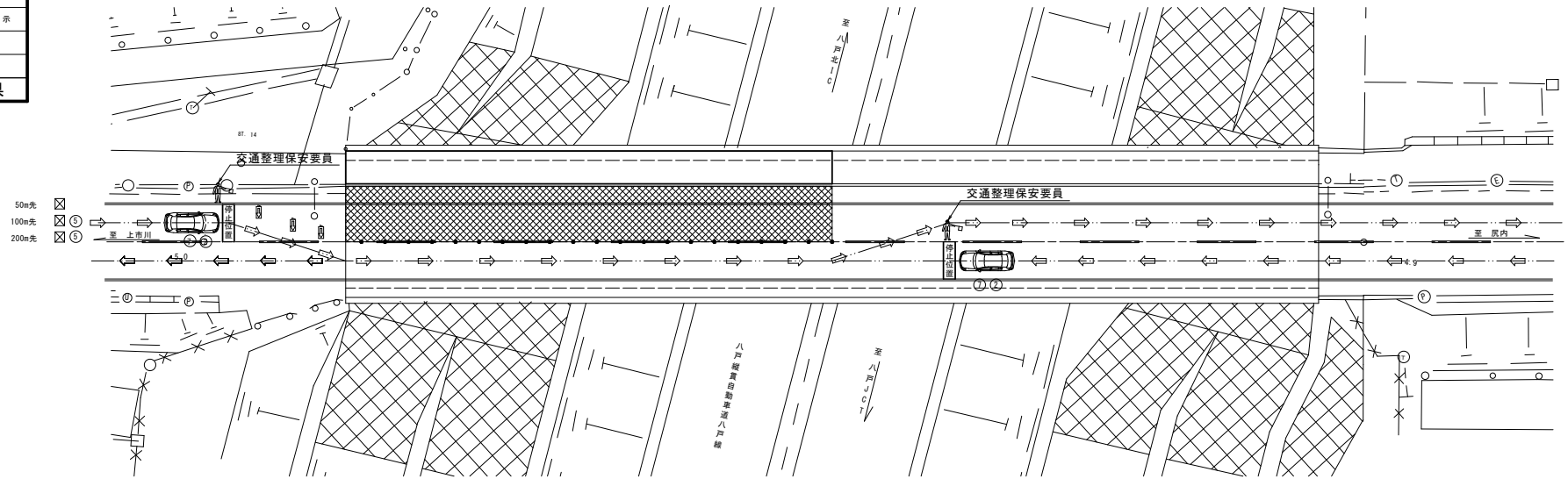
令和 8 年度　橋梁補修工事	
工事番号	承メンテ第430号
路線名 河川名	八戸三沢線（根岸山添橋）
施工箇所	青森県八戸市大字尻内町 地内
交通規制計画図（その3）	縮尺　図示
図面番号	22　葉中　22
三八県土整備事務所	
青　森　県	

35/35

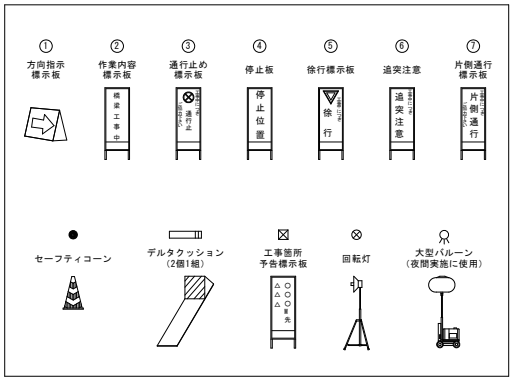
根岸山添橋 交通規制計画図（その3）　S=1:200

（参考図）

⑤上り線上市川側　床版防水層（車道.歩道）敷設時



凡例



施工フロー（参考）

県道内施工

橋　面　工
壁高欄地覆（内側）

- 準　備　工
- 片側交通規制
- 下り線尻内側　床版防水層(車道)　地覆断面修復・壁高欄地覆の表面処理
- 片側交通規制
- 下り線上市川側　床版防水層(車道)　地覆.壁高欄(内側)の表面処理
- 片側交通規制
- 上り線尻内側　床版防水層(車道.歩道)　地覆.壁高欄(内側)の表面処理
- 片側交通規制
- 上り線上市川側　床版防水層(車道.歩道)　地覆.壁高欄(内側)の表面処理
- 交通規制解除
- 後片付け
- 完　了

橋梁点検車での施工

上部工の張り出しと側面
壁高欄地覆（外側）

- 準　備　工
- ※区間毎、上下線の切り替え
- 片側交通規制
- 車道側：点検車搬入　／　歩道側：敷鉄板・土嚢設置　点検車搬入
- 地覆.壁高欄(外側)：ひび割れ補修
- 主桁：断面修復
- 地覆.壁高欄（外側）：表面処理　主桁(張り出し部と側面)：表面処理
- 車道側：点検車搬出　／　歩道側：敷鉄板・土嚢撤去　点検車搬出
- ※区間毎、上下線の切り替え
- 片側交通規制
- 後片付け
- 完　了

単管足場での施工

上部工の端部、内部、土留壁
下部工

- 準　備　工
- ※上下線の切り替え
- 片側交通規制
- P1.P2.斜材単管傾斜足場　設置
- 主桁(張出床版の端部)：ひび割れ補修
- 主桁(張出床版の端部)：表面処理
- 主桁(内部)：ひび割れ補修
- 土留壁：表面保護
- 下部工：ひび割れ補修、断面修復
- 下部工：表面処理工
- ※上下線の切り替え
- 片側交通規制
- P1.P2.斜材単管傾斜足場　撤去
- 後片付け
- 完　了

※全体工程では準備工と後片付けは各1工程とする。